

少年審判通訳ハンドブック

【フランス語】

最高裁判所事務総局

はじめに

少年審判において少年や保護者などが日本語を理解できない者である場合には、適正な調査や審判を実現するために、通訳が正しく行われることが必要です。しかし、調査や審判でのやり取りを正確に通訳することは、熟練した通訳人でも難しいものと思われます。まして、法律を学んだことのない方が初めて少年審判の通訳をする場合は、戸惑うことが多いと思います。そのような場合、あらかじめ、調査や審判などでよく使われる定型的表現や用語についての通訳例を承知しておくとともに、少年審判がどのような目的で、どのような手続に従って行われるのかということについて正しい予備知識を持っておくことは、適切な通訳を行うために大切なことであると思われます。

このハンドブックは、少年審判の通訳をすることになった方のために、通訳人として心得ておいていただきたいと思われること、知っていると役に立つと思われることをまとめ、通訳をする際の参考としていただくために作成したもので、少年審判の概要を説明した部分、通訳に当たっての注意事項を取りまとめた部分、調査や審判などでよく使われる定型的表現の対訳部分、さらに用語の対訳部分の4編からなっています。

このハンドブックが広く少年審判の通訳に当たる方の執務の参考になれば幸いです。

平成28年3月

最高裁判所事務総局家庭局

目 次

第1編	少年審判の概要	
第1	少年審判の意義と基本原理	1
1	少年審判の意義	1
2	少年審判の基本原則	1
(1)	教育主義（保護主義）	1
(2)	個別処遇の原則（処遇の個別化）	2
(3)	職権主義	3
第2	少年審判手続の流れ	3
1	事件の受理	3
(1)	対象事件	3
ア	少年保護事件	3
(ア)	犯罪少年	3
(イ)	触法少年	3
(ウ)	ぐ犯少年	3
イ	強制的措置許可申請事件	4
ウ	準少年保護事件	4
(2)	事件受理の態様	4
2	観護措置	4
(1)	意義	4
(2)	手続	5
ア	通訳人の氏名などの確認及び宣誓	5
イ	家庭裁判所調査官による面接	5
ウ	裁判官による観護措置決定手続	5
(ア)	少年の氏名などの確認	5
(イ)	黙秘権及び付添人選任権の告知	6

(ウ) 非行事実の告知及び少年の弁解の聴取	6
(エ) 決定の告知	6
(オ) ウィーン条約の説明	6
(3) 期間など	6
3 調査	7
(1) 裁判官による法的調査	7
(2) 家庭裁判所調査官による社会調査	7
4 審判	8
(1) 審判の開始	8
(2) 審判の場所，関与者など	8
(3) 手続	9
ア 審判開始の宣言	9
イ 通訳人の氏名などの確認と宣誓	9
ウ 少年の氏名などの確認	9
エ 黙秘権の告知	9
オ 非行事実の審理	9
カ 要保護性の審理	10
キ 決定の告知	10
(ア) 保護処分	10
a 保護観察	10
b 児童自立支援施設又は児童養護施設送致	10
c 少年院送致	11
(イ) 不処分	11
(ウ) 知事又は児童相談所長送致	11
(エ) 検察官送致	11
(オ) 試験観察	12

	(カ) 没取	12
	(キ) 訴訟費用の負担	13
	ク 保護処分の趣旨の説明	13
	ケ 抗告権の告知	13
	コ ウィーン条約の説明	13
5	検察官及び弁護士である付添人が関与した審理	13
6	被害者等の傍聴	14
第2編	通訳に当たっての注意事項	15
第1	一般的注意事項	15
第2	具体的注意事項	17
1	観護措置決定手続段階	17
2	調査段階	17
3	審判段階	18
第3編	定型文言の対訳	20
第1	観護措置決定手続	20
1	家庭裁判所調査官による面接	20
2	前置き	20
3	少年の氏名などの確認	22
4	黙秘権の告知	22
5	付添人選任権の告知	22
6	非行事実の告知	22
7	少年の弁解の聴取	24
8	観護措置をとらない場合	24
9	観護措置をとる場合（決定の告知等）	24
10	少年鑑別所収容の通知の説明	24
11	ウィーン条約の説明	24

第2	調査手続	26
1	前置き	26
2	少年の氏名などの確認	26
3	手続の説明	26
4	審判の説明	28
5	処分の説明	28
第3	審判手続	30
1	審判開始の宣言	30
2	少年の氏名などの確認	30
3	黙秘権の告知	30
4	被害者等の傍聴がある場合の説明	32
5	非行事実の告知	32
6	少年の弁解の聴取	32
7	証人尋問手続	32
8	聴取の終了	34
9	調査官の意見陳述	34
10	付添人の意見陳述	34
11	決定などの告知及びその説明	34
12	抗告権の告知（保護処分に付された場合）	34
13	ウィーン条約の説明 （少年院送致や少年院への戻し収容の場合）	34
第4	非行事実の告知	36
1	窃盗罪（万引）の例	36
2	窃盗罪（バイク盗）の例	36
3	遺失物等横領罪の例	36
4	傷害罪の例	36

5	強盗罪の例	38
6	殺人罪の例（その1）	38
7	殺人罪の例（その2）	38
8	覚せい剤取締法違反の例	38
9	毒物及び劇物取締法違反の例	40
10	過失運転致傷罪の例	40
11	道路交通法違反（無免許運転）の例	40
12	道路交通法違反（速度違反）の例	40
13	売春防止法違反の例	40
14	出入国管理及び難民認定法違反の例	42
15	ぐ犯の例	42
第5	決定などの告知及びその説明	42
1	保護観察決定などの告知及びその説明	42
	(1) 保護観察決定の告知及びその説明	42
	(2) 交通短期保護観察の処遇勧告の告知及びその説明	44
2	児童自立支援施設又は児童養護施設送致決定の告知 及びその説明	44
3	少年院送致決定などの告知及びその説明	44
	(1) 少年院送致決定の告知及びその説明	44
	(2) 処遇勧告の告知及びその説明	44
	ア 短期間の処遇勧告の説明	44
	イ 特別短期間の処遇勧告の説明	44
4	不処分決定の告知	44
5	知事又は児童相談所長への送致決定の告知	46
6	検察官送致決定の告知	46
7	強制的措置許可決定の告知	46

8	強制的措置不許可決定の告知	46
9	試験観察決定などの告知及びその説明	46
10	没取決定の告知	46
11	訴訟費用負担決定の告知	46
12	戻し収容決定の告知	48
13	収容継続決定の告知	48
14	保護処分の取消決定の告知	48
15	施設送致決定の告知	48
第6	書式例	50
書式1	少年と保護者の皆さんへ（身柄事件用）	50
書式2	少年と保護者の皆さんへ（在宅事件用）	52
書式3	審判期日通知書	54
書式4	呼出状	56
書式5	呼出状（調査）	58
書式6	同行状（緊急）	60
書式7	観護措置通知書	62
書式8	付添人選任届	64
書式9	付添人選任に関する通知及び照会	66
書式10	付添人選任に関する回答書	68
書式11	決定通知書（審判不開始決定）	70
書式12	証人召喚状	72
書式13	証人等整理票	74
書式14	宣誓書	76
書式15	通報の要請に関する照会	78
第4編	用語の対訳	80
第1	法律関係用語	80

第2	調査関係用語	95
第3	官庁等諸機関名	97
第4	法令名	101
第5	罪名	105
	少年保護事件の手続の流れ	109

第1編 少年審判の概要

第1 少年審判の意義と基本原理

1 少年審判の意義

一般に、少年は人格が未熟である半面、教育などにより改善される可能性が高いので、非行のある少年に対しては、責任を追及して刑罰による非難を加えるのではなく、非行の背景を探り、少年に保護、教育を行うことが、少年の健全な育成に役立つと考えられます。そこで、少年法（以下「法」といいます。）1条に掲げられている「少年の健全な育成」を図るため、非行のある少年の事件は、全て家庭裁判所に送らせ（これを「全件送致主義」といいます。）、家庭裁判所で少年の個別的な問題性を調査した上、個々の少年に応じた教育的な措置を行うこととされています。家庭裁判所における少年事件の審理は、刑事訴訟手続のように公開の法廷で検察官と被告人及び弁護人双方の主張につき裁判官が第三者的立場から判断をするのではなく、非公開の審判廷で、裁判官が、職権により、少年、保護者のほか、家庭裁判所調査官、付添人などの関係者の意見を聴いた上、少年の後見的役割も果たしつつ、少年の将来を考えて処分を決める構造となっています。一定の場合には、検察官も審判に出席しますが、この場合の検察官も家庭裁判所の審判の協力者として出席します。このように、少年の健全な育成を図る目的の下に家庭裁判所が行う、少年事件の受理から最終的な決定に至るまでの一連の手続を、少年審判といいます。

2 少年審判の基本原則

(1) 教育主義（保護主義）

少年審判は、非行のある少年について、できるだけ処罰でなく、教育的な手段によって非行性を矯正し、更生を図ることを目的としており、刑罰は、このような教育的な手段によって矯正することができないか、それが不適當な場合に限って科せられることになっています。これは、少年は、精神的に未熟、不

安定で、環境の影響を受けやすく、非行に至った場合にも必ずしも犯罪性が進んでいない者が多いので、これを成人と同視して、その責任を追及することは適当でないという考えと、少年は、たとえ罪を犯した場合にも人格の発達途上にあるものとして、成人に比べなお豊かな教育的可能性（可塑性）を有しており、指導や教育によって更生させることが期待できるにもかかわらず、教育によらずに刑罰という制裁を科すことは、本人の将来のためにならないばかりでなく、社会にとっても決して得策ではないという考えに基づいています。

このような考え方を教育主義といいます。教育主義は、全ての少年事件を家庭裁判所に送らせ（全件送致主義）、家庭裁判所において、必要な調査を行った上で少年の処分を決める仕組みになっていることにも表れています。

(2) 個別処遇の原理（処遇の個別化）

少年の非行の原因は様々であり、性格、環境などの問題点も多岐にわたりますから、これに対処して少年の非行性を取り除き、その更生を図るには、少年の個別的な問題性に応じた処遇を行うことが必要になります。このため、家庭裁判所においては、心理学、教育学、社会学などの行動科学の知見を活用した専門的な調査について訓練を受けている家庭裁判所調査官が、非行が起こったメカニズムを分析し、再非行を防ぐための手立てを検討するために、非行の経緯、少年の性格、生育歴、少年を取り巻く環境などについて調べます（社会調査）。さらに、必要な少年に対しては、少年鑑別所において鑑別が行われることもあります。

また、個別的な処遇方法としては、保護処分として、保護観察、児童自立支援施設又は児童養護施設送致、少年院送致があり、保護観察と少年院送致については、運用上様々な処遇が用意されているほか、試験観察などの中間的な措置や家庭裁判所調査官による教育的な働き掛け（保護的措置）などがあります。刑事裁判の場合と異なり、少年の個別的な問題性に応じた処遇を選択することができるようになっていきます。

(3) 職権主義

刑事裁判では、被告人と検察官の対立する当事者がお互いに攻撃や防御を行い、裁判所が第三者的立場から判断を下すという当事者主義的な構造がとられていますが、少年審判では、これと異なり、家庭裁判所が、少年の健全な育成を図るため、自ら少年に関する広範な調査を行い、審問を行う職権主義的な構造がとられています。

少年審判に関与する者は、少年、保護者のほか、家庭裁判所調査官、付添人、検察官、保護観察官、保護司、少年鑑別所の職員、学校の教師など多数にわたりますが、いずれも少年の健全な育成という目的の下に協力的な立場に関与するものとされています。

第2 少年審判手続の流れ

1 事件の受理

(1) 対象事件

ア 少年保護事件

これは、家庭裁判所に送られてきた少年を保護処分に付すかどうかを判断する事件で、家庭裁判所が取り扱う少年に関する事件の中の主なものです。その対象となる少年は、次の3種類があります。

(ア) 犯罪少年

1 4歳以上20歳未満の罪を犯した少年（法3条1項1号）

(イ) 触法少年

刑罰の定めのある法令に触れる行為をしたが、行為の時14歳未満であったため、刑法上罪を犯したことにならない少年（法3条1項2号）

(ウ) ぐ犯少年

20歳未満で、保護者の正当な監督に服しないとか、正当な理由がないのに家庭に寄り付かないとか、あるいはいかかわしい場所に出入りするといった一定の行状があり、その性格や環境から見て将来罪を犯す又

は刑罰法令に触れる行為をするおそれのある少年（法3条1項3号）

イ 強制的措置許可申請事件

これは、児童相談所等で取り扱っている児童について、適切な保護を行うため、児童の行動の自由を制限し、又はその自由を奪うような強制的な措置を必要とするときに、児童相談所等がそのような措置をとることの許可を求めて家庭裁判所にその児童を送致する事件です（法6条の7第2項）。

ウ 準少年保護事件

保護処分取消事件（法27条の2）、収容継続申請事件（少年院法138条、139条）、戻し収容申請事件（更生保護法71条、72条）及び施設送致申請事件（更生保護法67条2項、法26条の4）を準少年保護事件といい、これらの事件の手続は、性質に反しない限り少年保護事件のそれと同様です（法27条の2第6項、少年院法138条5項、139条3項、法26条の4第3項）。

(2) 事件受理の態様

家庭裁判所が少年保護事件を受理する方法としては、警察(司法警察員)からの送致(法41条)、検察官からの送致(法42条)のほか、知事又は児童相談所長からの送致(児童福祉法27条1項4号、法3条2項)。家庭裁判所調査官からの報告(法7条1項)、一般人からの通告(法6条1項)があります。また、強制的措置許可申請事件は、知事又は児童相談所長から送致されます(法6条の7第2項、児童福祉法27条の3)。

刑事事件における裁判所への事件の係属は、原則として検察官による公訴の提起に限られています（刑事訴訟法247条）が、少年事件の場合には、一般人を含めて、少年の健全な育成に関心を持つ者からの通告などによっても、事件を家庭裁判所に係属させる制度をとっているのが特徴です。

2 観護措置

(1) 意義

観護措置とは、家庭裁判所が調査や審判をするために、少年の心情の安定を図りながら、少年の身柄を確保しておく措置をいいます。これには、少年を家庭などに置いたまま、家庭裁判所調査官が随時連絡を取って少年を観護するもの（法17条1項1号）と、少年を少年鑑別所に収容するもの（法17条1項2号）の2種類がありますが、前者はほとんど利用されておらず、通常、観護措置というときは後者を指します。

後者の観護措置では、少年を少年鑑別所に収容することによりその身柄を確保するとともに、少年の行動を観察しながら鑑別を行います。そして、鑑別の結果は家庭裁判所に報告され、調査や審判の資料とされます。以下では、後者の観護措置を前提として、説明します。

(2) 手続

ア 通訳人の氏名などの確認及び宣誓

家庭裁判所調査官による面接（後記イ）や裁判官による観護措置決定手続（後記ウ）の前提として、まず、通訳人の氏名などの確認と宣誓が行われます。通訳人は、裁判官から、氏名や住所、経歴、少年や保護者との身分関係などの有無、調査や審判などでの通訳経験の有無などを聴かれ、良心に従って誠実に通訳することを誓います。

イ 家庭裁判所調査官による面接

裁判官による観護措置決定手続（後記ウ）の前に、家庭裁判所調査官が短時間少年に面接し、観護措置の要否について家庭裁判所調査官の立場からの意見を裁判官に提出する場合があります。家庭裁判所調査官による面接では、少年の氏名や生年月日、国籍、非行事実などの確認が行われるほか、少年審判手続についての一般的な説明も行われます。

ウ 裁判官による観護措置決定手続

(ア) 少年の氏名などの確認

裁判官は、直接少年に会った上で、少年に対し、少年の氏名、生年月

日、職業、国籍、日本での住居などを聴いて、少年が人違いでないかどうかを確認します。

(イ) 黙秘権及び付添人選任権の告知

裁判官は、少年に対し、黙秘権及び付添人選任権を告げます。少年は裁判官の質問に対し、無理に答える必要はありません。また、少年事件において家庭裁判所の審判の協力者としての役割とともに、刑事事件の弁護人のような役割を果たす人を付添人といいますが、少年に付添人を選任できる権利（法10条）があることも分かりやすく説明します。

(ウ) 非行事実の告知及び少年の弁解の聴取

裁判官は、少年に対し、非行事実を告げて、少年の弁解を聴きます。

(エ) 決定の告知

裁判官は、少年に対し、観護措置をとる場合にはその旨の決定を告げ、観護措置をとらない場合にはその旨を告げます。

(オ) ウィーン条約の説明

裁判官が外国籍の少年について観護措置をとる旨の決定をした場合には、裁判官は、少年に対し、少年の希望があれば領事関係に関するウィーン条約に基づいて少年の国の駐日大使館などに通報する旨の説明などをします。ただし、この通報は、それまでにその事件で通報されていない場合に限ります。

なお、二国間条約に基づき、少年の希望の有無にかかわらず通報することとされている国の少年に対しては、ウィーン条約の説明は必要ありません。

(3) 期間など

少年を少年鑑別所に収容することができる期間は、原則として2週間ですが、特に継続の必要があるときは、更新することができます（法17条3項）。更新は原則として1回を超えて行うことはできませんが、例外的に、更に2回を

限度として行うことができます（法17条4項）。したがって、少年を少年鑑別所に収容しておくことのできる期間は、最長8週間ということになります。

通常は、少年鑑別所において行う少年の行動観察や鑑別のために相当の期間を要するため、4週間近く収容されることが多いのが実情です。また、観護措置は、その必要がなくなったときは、いつでも取り消すことができます（法17条8項）。

3 調査

(1) 裁判官による法的調査

家庭裁判所が事件を受理すると、裁判官は、まず捜査機関から送られてきた記録を検討して、少年に本当に非行があるのかどうかを調査します（法的調査）が、記録を検討した結果、少年に非行があるとの蓋然的心証を得た場合には、家庭裁判所調査官に対し、少年の要保護性についての調査（社会調査）を命じます。しかし、少年が捜査段階で非行事実を否認している場合や、証拠関係に不明な点があって、非行事実の認定に問題があると裁判官が考えた場合には、家庭裁判所調査官に調査を命じる前に、審判を開き、その点について直接少年の弁解を聴き、証人などを調べる場合もあります。

(2) 家庭裁判所調査官による社会調査

家庭裁判所調査官は、裁判官から調査を命じられると、行動科学等の専門的知識を活用して、非行の経緯、少年の性格、生育歴、少年を取り巻く環境などを調べ（社会調査）、非行の背景やメカニズムを分析するという役割を担っています。社会調査は、少年が非行を繰り返す傾向の強さ、その傾向を取り除くことのできる可能性、そして保護処分という手段で矯正することのできる可能性といった要素（要保護性といいます。）を検討するために行われます。。社会調査は、家庭裁判所調査官が主に少年や保護者などと面接して行われ、少年鑑別所に収容されている少年に対しては、少年鑑別所に出向いて行われます。少年との面接の際には、家庭裁判所調査官が、少年の氏名、生年月日、国籍や

非行事実などを確認するほか、少年の生育歴、入国の経緯、日本での生活状況、非行の経緯や背景などを聴きますが、一般的な手続の説明なども行います。

また、家庭裁判所調査官が少年の家に出向いて家庭などの状況を見てくるとや学校などに照会することもあります。調査に当たっては、少年の情操や名誉を傷つけないように、また、関係者の秘密が守られるように、十分な注意が払われています。

家庭裁判所調査官は、調査結果と少年が立ち直るために必要な処遇に関する意見を少年調査票という書面にまとめ、裁判官に報告します。

4 審判

(1) 審判の開始

裁判官は、家庭裁判所調査官の調査結果などを検討した上で、審判を開く必要があるかどうかを決めます。少年が事実を認めており、かつ、事案が軽微であり、調査の過程における家庭裁判所調査官からの教育的な働き掛けなどにより十分な手当てがされているなどの理由から、審判を開いて指導を行う必要がないと判断した場合には、審判不開始決定をして裁判官が少年に直接働き掛けを行うことなく手続を終了させます。少年が事実を否認している場合や保護処分（保護観察、少年院送致等）などの手当てをする必要があると判断した場合には、審判開始決定をして審判を開きます。

なお、少年が逮捕、勾留などにより身柄が拘束されたまま家庭裁判所に送致されて観護措置がとられたような場合には、調査命令を発する際に併せて審判開始決定をするのが一般です。

(2) 審判の場所、関与者など

審判は、原則として家庭裁判所の審判廷で行われ、非公開の場で、懇切を旨として、和やかに行うとともに、少年に対し、自己の非行について内省を促すものとされ（法22条1項）、少年の情操の保護が図られています。

審判には、裁判官、家庭裁判所調査官、裁判所書記官、少年及び少年の保護

者が出席し、場合によっては、付添人、検察官、学校の教師、雇い主、保護観察官、保護司、少年鑑別所の職員などが出席することもあります。また、一定の重大な事件では、被害者等が審判を傍聴することもあります。

なお、裁判官については、1人の場合と3人の場合があります。重大事件などについては3人の合議体で審判が行われ、そのうちの1人が裁判長として手続を進めます。以下では裁判官が1人の場合について記述しますが、3人の合議体で審判が行われた場合にも、基本的に同じです。

(3) 手続

ア 審判開始の宣言

審判を開始するに当たっては、まず、裁判官が審判の開始を宣言します。

イ 通訳人の氏名などの確認と宣誓

通訳人の氏名などの確認や宣誓が審判の前に行われていないときには、通訳人の氏名などの確認と宣誓が行われます。

通訳人は、裁判官から、氏名や住所、経歴、少年や保護者との身分関係などの有無、審判などでの通訳経験の有無などを聴かれ、良心に従って誠実に通訳することを誓います。

ウ 少年の氏名などの確認

裁判官は、少年に対し、少年の氏名、生年月日、職業、国籍、日本での住居などを聴いて、少年が人違いでないかどうかを確認します。

エ 黙秘権の告知

裁判官は、少年に対し、黙秘権を告げます。

オ 非行事実の審理

裁判官は、少年に対し、非行事実を告げて、少年の言い分を聴き、その上で捜査機関から送られてきた少年に不利な証拠の内容を告げて、これについて言い分を述べる機会を与えます。必要な場合には、証人尋問などの証拠調べも行われます。審判の進め方や証拠調べの範囲、方法などについては、裁

判官の裁量に委ねられていますが、この裁量も無制限ではなく、合理的なものでなければならないとされています。また、保護処分の決定を行うには、非行事実の存在について、間違いがないとの確信（合理的な疑いを超える確信）が必要とされています。

カ 要保護性の審理

裁判官は、非行事実の審理の結果、非行事実の存在について確信した場合には、続いて、少年の要保護性についての審理を行います。裁判官は、主として家庭裁判所調査官の作成した少年調査票や少年鑑別所の鑑別結果報告書の内容を踏まえて、少年や保護者に対し、非行の動機・原因のほか、少年自身の生い立ち、少年の家族関係、学校、職場などの環境などについて、そのポイントとなる点を確認し、あるいは自発的な発言を促してその言い分を十分に聴きます。また、その他の関係者から必要に応じて意見を述べてもらうこともあります。

キ 決定の告知

裁判官は、調査や審判の結果に基づいて、少年の非行事実及び要保護性を総合的に検討し、個々の少年の健全な育成のために最もふさわしい処分を決定し、少年にそれを告げます。

裁判官が審判で行う処分としては、次のようなものがあります。

(ア) 保護処分

a 保護観察

少年を家庭や職場に置いたまま、保護観察官や保護司が少年に対して指導監督と補導援護を行い、少年の改善更生を図るものです（法24条1項1号）。

b 児童自立支援施設又は児童養護施設送致

児童自立支援施設や児童養護施設という児童福祉施設に少年を送って教育や養護を行うものです（法24条1項2号）。

c 少年院送致

少年を少年院という特別の矯正教育施設に収容して、少年が健全なものの考え方や規則正しい生活習慣を身に付けることができるように指導するものです（法24条1項3号）。少年院には、第1種から第4種までの4種類がありますが、家庭裁判所が少年を送致するのはこのうち第1種から第3種までの少年院です。少年を送致する少年院の種類は、決定において定められます。また、家庭裁判所は、第1種少年院に少年を送致する場合には、短期間（6か月）又は特別短期間（4か月）で処遇を終えることが適当である旨の処遇勧告を付すことができ、その場合には、少年院長は家庭裁判所の処遇勧告をそのまま受け入れる運用が行われています。

(イ) 不処分

審判の結果、非行事実が認められない場合や、非行事実が認められても、特に保護処分に付すまでの必要はないと認められた場合に行われるもので、少年を保護処分に付さないことを宣言するものです（法23条2項）。

(ウ) 知事又は児童相談所長送致

少年を児童福祉施設に入所させたり、少年に児童福祉司や児童委員による指導を受けさせたりするなど、児童相談所の措置に委ねることが適当であると認められた場合に行われるものです（法23条1項、18条1項）。

(エ) 検察官送致

死刑、懲役又は禁錮に当たる罪の事件について、調査をした上、その事件の重大性や犯情、さらには、少年の犯罪的危険性、非行歴などから判断して、刑罰を科すのが相当と認められるときに、事件を検察官に送致するものです。また、殺人や傷害致死など故意の犯罪行為によって被

害者を死亡させた罪の事件であって、犯行時に16歳以上の少年に係るものについては、原則として事件を検察官に送致することとされています（法23条1項、20条）。

送致を受けた検察官は、犯罪の嫌疑がある限り、原則として、刑事裁判所に公訴を提起（起訴）しなければならないとされています（法45条5号）。

なお、このほかに、本人が20歳以上であることが判明したときにも、事件を検察官に送致する決定が行われます（法23条3項、19条2項）。

観護措置がとられている事件について、検察官送致の決定をするときは、あらかじめ、本人に対し、罪となるべき事実や弁護人を選任することができる旨などが告げられます。さらに、死刑又は無期若しくは長期3年を超える懲役若しくは禁錮に当たる事件については、本人に対し、貧困その他の事由により自ら弁護人を選任することができないときは弁護人の選任を請求することができる旨などが告げられます（少年審判規則24条の2）。

(オ) 試験観察

試験観察とは、家庭裁判所が直ちに保護処分を選択するかどうかの最終決定を行いにくい場合に、(ア)から(エ)までのような最終的な決定を留保したまま、少年の非行性や更生可能性を見定めるために、相当の期間、少年を家庭裁判所調査官の観察に付すという中間的な決定です。その際には、併せて、遵守事項を定めてその履行を命じたり、適当な施設や個人などに少年の補導を委託したり（これを「補導委託」といいます。）するなどして、少年の行動を観察することもあります（法25条）。

(カ) 没取

没取とは、犯罪少年や触法少年について、審判不開始決定や（ア）から（ウ）までの決定等をするに当たり、犯罪に利用した凶器など一定の物の所有権を少年から剥奪し、国庫に帰属させるために行われる処分です（法24条の2）。

（キ） 訴訟費用の負担

家庭裁判所へ送致される前に少年に国選弁護人が付された事件について、不処分又は保護処分の決定がされた場合には、家庭裁判所は、少年に対し、その国選弁護費用（訴訟費用）を負担させることができます（法45条の3、刑事訴訟法181条1項）。

ク 保護処分の趣旨の説明

裁判官は、保護処分の決定を告げる場合には、少年及び保護者に対し、保護処分の趣旨を懇切に説明し、これを十分に理解させます（少年審判規則35条1項）。

ケ 抗告権の告知

裁判官は、保護処分の決定を告げた場合には、少年及び保護者に対し、決定に不服があるときは2週間以内に抗告申立書を裁判所に差し出して抗告をすることができる旨を告げます（少年審判規則35条2項）。

コ ウィーン条約の説明

裁判官が少年院送致や少年院への戻し収容の決定を告げた場合には、裁判官は、少年に対し、少年の希望があれば領事関係に関するウィーン条約に基づいて少年の本国の駐日大使館などに通報する旨の説明などをします。ただし、この通報は、それまでにその事件で通報されていない場合に限りです。

なお、二国間条約に基づき、少年の希望の有無にかかわらず通報することとされている国の少年に対しては、ウィーン条約の説明は必要ありません。

5 検察官及び弁護士である付添人が関与した審理

検察官は、原則として少年審判に関与しませんが、家庭裁判所は一定の罪の事

件で、その事実認定手続に検察官が関与する必要があると認めるときは、審判に検察官を出席させることができます（法 22 条の 2）。この場合に、家庭裁判所は、少年に弁護士である付添人がないときは、弁護士である付添人を付すこととされています（法 22 条の 3 第 1 項）。

また、検察官が関与しない場合でも観護措置がとられている一定の罪の事件に係る犯罪少年や触法少年の審判において、事案の内容、保護者の有無その他の事情を考慮し、必要があると認めるときは、弁護士である付添人を付することができることとされています（法 22 条の 3 第 2 項）。

このようにして検察官や弁護士である付添人が出席した審判においては、検察官や付添人から証拠調べの申出がされたり、少年や証人などに対して質問がされたりします。ただし、刑事裁判と異なり、検察官や付添人は家庭裁判所の審判の協力者として関与します。

6 被害者等の傍聴

少年審判は原則として非公開ですが、犯罪少年又は触法少年が起こした一定の重大な事件の被害者等は、裁判所の許可を受けて少年審判を傍聴することができます。被害者等から傍聴の申出があった場合には、裁判所は、少年の年齢及び心身の状態、事件の性質、審判の状況その他の事情を考慮し、少年の健全な育成を妨げるおそれがなく相当と認めるときに限り、傍聴を許すことができます（法 22 条の 4）。

第2編 通訳に当たっての注意事項

第1編で少年審判の概要をおおむね御理解いただけたことと思います。通訳人の皆さんは、この少年審判の中で、言葉の通じない外国人の少年や保護者などと少年審判に関与する他の人とのいわばパイプ役を果たしていただくこととなります。少年審判においては、まず、少年に調査や審判などで何が行われているかを十分に理解させる必要があります。そして、裁判官や家庭裁判所調査官と少年などとの意思の疎通を十分に行いながら審理を進めていかなければなりません。そのためには正確な通訳が必要です。

本編では、通訳人の皆さんに心得ておいていただきたい注意事項をまとめてみました。

第1 一般的注意事項

1 良心に従って誠実に通訳を行ってください。

通訳人の皆さんには、通訳をするに当たってその旨の宣誓をしていただきます。これは、法律に基づくもので、適正な調査や審判などを実現するためのものです。

なお、故意に偽りの通訳を行いますと、処罰されることがあります。

2 公正を保ってください。

少年審判は、偏りのない、公正な手続で行われなければなりません。通訳人も、通訳をするに当たっては、立場上公正さを疑われるような行動をとってはならないので、少年や保護者などと交友関係があるなど特別の関係にある場合には、直ちに申し出てください。警察や検察庁での当該少年に対する取調べに通訳人として立ち会ったことがある場合には、必ず裁判所にその旨を伝えてください。また、少年や保護者などに対して名刺を渡したり、電話番号を教えたりするなど、少年やその関係者から接触してくる機会を与えないようにしてください。

もちろん、一緒に飲食したり、贈り物を受け取ったりするなどの行為は、絶対に行わないでください。

3 職務上知り得た秘密を漏らさないでください。

少年事件の調査や審判は、少年の社会復帰を助けるため、非公開で行われ、その内容は、外部には知らされません。特に、少年の非行の内容が外部に知れると、少年が就職する妨げになったり、学校を退学になったりすることがあり、その更生に著しい悪影響を及ぼすことがあります。

通訳人の方は、調査や審判などの過程で、事件の内容に関する様々なことを知ります。特に、調査や審判においては、その性質上、少年の生育環境や心身の状況など、少年のプライバシーに関することを知ることも多くあります。これらの内容は絶対に他に漏らさないでください。少年審判は、秘密性を重視して行われるものですから、秘密の保護には特に注意してください。家庭裁判所調査官による調査に際しては、少年と保護者の間でも秘密にされている事項についての話もよくありますので、これらについては、外部だけではなく、少年や保護者に対しても、絶対に漏らさないでください。

4 少年から調査や審判以外の場で質問されたり、話しかけられたりした場合にも、少年との会話の内容については十分に注意してください。

少年は、慣れない土地で身体の自由の拘束を受けるなどしていますので、自分の話す言葉を理解してくれる通訳人に様々な相談をすることもあるかと思われまます。しかし、通訳人の個人的な経験などから、審判の見通しや今後の手続などを話したりすると、これによって少年が誤った期待等を抱いてしまうおそれが多分にあります。通訳人は、少年の助言者ではありません。少年の保護者、友人などから問合せや相談があった場合も同様です。

5 裁判所では、通訳人の皆さんに、正確な通訳をしていただくために、少年の非行事実を記載した書類をお渡しすることがありますが、この書類は、審判が終了したらすぐに担当の裁判所書記官に返却してください。また、分からないことが

あれば、担当の裁判所書記官にお尋ねください。

第2 具体的注意事項

1 観護措置決定手続段階

観護措置決定手続は、少年を少年鑑別所に收容するか否かを決める重要な手続ですから、裁判官や少年が話したことを忠実に通訳してください。観護措置決定手続段階における注意事項は、基本的に審判段階におけるものと同様ですから、後記3を参考にしてください。

2 調査段階

- (1) 家庭裁判所調査官、少年及び保護者が話したことを忠実に通訳してください。

家庭裁判所調査官は、行動科学の専門的知識を背景に、少年との面接の中で、様々な角度から少年に質問、あるいは心理テストなどを行い、少年の要保護性を調査します。家庭裁判所調査官の質問に対する少年の返答内容や態度などは、全て少年の人格を理解するために重要な要素となり、また、家庭裁判所調査官は、少年の反応や性格などにより、質問方法を変化させていきます。したがって、家庭裁判所調査官の質問を正確に通訳し、少年や保護者の言葉をできる限り忠実に通訳してください。一部を省略したり、話した内容を簡単にまとめてその趣旨だけを通訳したりすることは極力避けてください。また、少年や保護者が質問に対する答え以外にも話をしている場合や質問をしていないのに話を始めた場合にも、その発言を禁止せずに通訳してください。

- (2) 通訳するときに、通訳人による評価を交えたり、コメントを付け加えたりしないでください。

通訳は、発言をできるだけ忠実に通訳することが原則です。通訳人が評価を交えるなどすると、発言の本当の内容が相手に伝わらず、誤解を生じることになります。もし家庭裁判所調査官が少年や保護者の発言の意味を理解できない場合には問い直しますので、通訳人がコメントを付け加えることは遠慮してください。

なお、少年を理解する上で必要と思われるもので、少年の母国の文化などについて、どうしても少年が説明しきれず、通訳人が裁判所に伝えておくことが望ましいと思われるものがある場合には、その旨を申し出た上、家庭裁判所調査官の指示に従ってください。

- (3) 家庭裁判所調査官の質問に分からない言葉があるなど疑問があった場合には、遠慮なく家庭裁判所調査官に尋ねてください。

通訳人を付けた事件の場合、家庭裁判所調査官はできるだけ簡潔に質問をするなどの工夫をするのが通例ですが、もし複雑な質問やいくつもの質問が一度にされたりして通訳に困難を感じる場合は、直ちにその旨を家庭裁判所調査官に申し出てください。また、専門用語などで意味の分からない言葉があった場合や、質問内容を正確に理解できない場合は、中途半端に処理しないで遠慮なく申し出てください。質問の意味をよく理解しないまま通訳を行ったのでは、調査の目的は達せられません。

- (4) 少年や保護者が通訳された内容を理解していないと見える場合には、通訳人の判断で少年などに追加説明しないでください。

質問する側としては、答える側がどれだけ質問を理解したかを把握することも大切です。少年や保護者が通訳された内容を理解していないと見える場合には、そのまま答えを通訳した上で、よく理解できていない旨を家庭裁判所調査官に告げてください。家庭裁判所調査官は、質問を変えるなどの工夫を行います。質問する側と答える側に食い違いがあるのにそのまま調査を進めると、思わぬ誤解を生じるおそれがあります。

- (5) 通訳を行っていただく際、発言を一通り訳し終わった場合には、「はい。」と声に出したり、家庭裁判所調査官の方を向いたりして、合図をしてください。

3 審判段階

- (1) 裁判官、少年、証人その他の関係者が話したことを忠実に通訳してください。
審判では、裁判官が同じ点について様々な角度から何度も尋ねることがあり

ます。これに対し、少年が同じようなことを繰り返しているように見える場合もあります。このような場合でも、それぞれの質問のニュアンスなどに注意して、言葉をできる限り忠実に通訳してください。一部を省略したり、話した内容を簡単にまとめてその趣旨だけを通訳することは極力避けてください。また、通訳するときには、通訳人による評価を交えたり、コメントを付け加えたり、裁判官の指示によらないで少年らの発言を禁止したりしないでください。

- (2) 裁判官等の質問に意味の分からない言葉があるなど通訳がやりにくいと感じたときは、遠慮なくその旨を裁判官に申し出てください。

通訳人を付けた事件の場合、裁判官等はできるだけ簡潔にわかりやすく質問するなどの工夫をするのが通例ですが、もし複雑な質問がされたりして通訳に困難を感じる場合は、直ちにその旨を裁判官に申し出てください。また、質問の途中で難しい言葉が出てきた場合や、質問内容を正確に理解できない場合は、中途半端に処理しないで遠慮なくその旨を申し出てください。質問の意味などをよく理解しないまま通訳を行ったのでは、審判の目的は達せられません。

- (3) 少年や証人が通訳された内容を理解していないと見える場合には、通訳人の判断で少年らに説明することなく、そのまま答えを通訳した上で、十分に理解できていない旨を裁判官に告げてください。裁判官は質問の仕方を変えたりして工夫します。質問する側と答える側に食い違いがあるのにそのまま手続を進めると、思わぬ誤解を生じたりします。

- (4) 通訳を行っていただく際、発言を一通り訳し終わった場合には、「はい。」と声に出したり、裁判官の方を向いたりして、合図をしてください。

第3編 定型文言の対訳

〔一般的には、ここに記載されたような方式で行われますが、必ずしもここに書かれているとおりの内容が述べられるとは限りませんし、ほかの内容が述べられることもあります。なお、本編では、裁判官が1人で、検察官が関与しない審理について記載していますが、裁判官が3人である場合や検察官が関与する場合についても、以下に記載した手続の流れは基本的に同じです。〕

第1 観護措置決定手続

1 家庭裁判所調査官による面接を行う場合

〔ここに記載されているほかは、第2の2以下の内容を参考にしてください。〕

私は、家庭裁判所調査官の〇〇です。

最初に、私が、今回の非行や現在の生活状況などについて聴き、その後に裁判官の面接があります。

裁判官の面接では、もう一度、君の名前、生年月日、職業、国籍、日本での住居などが聴かれます。

裁判官の面接では、今回君がしたとされている非行の内容が告げられ、弁解の機会を与えられます。

事実と違う点や納得のできない点があれば、その機会に述べてください。

裁判官は、今回の非行の内容、君のこれまでの生活状況などを考慮して、君の問題点を調べてもらうために、君を少年鑑別所に収容する必要があるかどうかを判断します。

2 前置き

私は、裁判官の〇〇です。

君について〇〇事件が送られてきました。

今後、君に本当に非行があるかどうかを確かめた上で、最終的な処分を決めて

I. Procédures de décision d'une mesure de détention

- 1 En cas d'entretien avec le délégué à la liberté surveillée du Tribunal des affaires familiales
[Concernant les mentions autres que celles figurant ici, reportez-vous au contenu ci-dessous à partir de II-2]

Je suis _____, délégué à la liberté surveillée du Tribunal des affaires familiales.

En premier, je vais vous interroger au sujet de votre/vos acte(s) de délinquance et de votre vie actuelle. Vous aurez ensuite un entretien avec un juge.

Au cours de l'entretien avec le juge, celui-ci vous demandera à nouveau votre nom, votre date de naissance, votre profession, votre nationalité, votre domicile au Japon, etc.

Au cours de cet entretien, le juge vous informera de l'acte/des actes de délinquance que vous êtes présumé avoir commis, et il vous donnera l'occasion de vous expliquer.

S'il y a des points qui sont en contradiction avec les faits ou avec ce que vous avez compris, indiquez-les à cette occasion.

En tenant compte de l'acte/des actes de délinquance en question et de votre vie jusqu'ici, etc., le juge décidera s'il est nécessaire ou non de vous placer dans un centre d'évaluation pour mineurs afin d'étudier vos problèmes.

2 Introduction

Je suis le juge _____.

L'affaire de _____ vous concernant m'a été transmise.

Une fois qu'il aura été établi si vous avez commis ou non un/des acte(s) de délinquance, une mesure définitive sera décidée à votre égard. En tant qu'étape préalable à cette

いくこととなりますが、今日は、その前提として、君の問題点を調べてもらうために、君を少年鑑別所に送致する必要があるかどうかを決めます。

これからの手続については、裁判所が選任した通訳人が通訳することになります。通訳人は、誠実に通訳することを宣誓しています。

私の言っている意味が分からないときは、何でも遠慮なく聞いてください。

3 少年の氏名などの確認

名前は何といいますか。

生年月日はいつですか。

国籍はどこですか。

日本ではどこに住んでいますか。

仕事は何をしていますか。

4 黙秘権の告知

これからいくつか質問しますが、君は無理に答える必要はありません。黙っていてもそれだけで不利になることはありません。

しかし、言いたいことがあれば、遠慮なく話してください。

ただし、君が話したことは、君にとって有利か不利かを問わず、証拠として使われることがあります。

5 付添人選任権の告知

君や君のお父さん、お母さんなどの保護者は、今回の審判のために、付添人を頼むことができます。

付添人とは、裁判所の審判に協力しながら、君の権利を守ったり、相談に乗ってくれたりする人です。

弁護士以外の人を付添人に頼む場合は、家庭裁判所の許可が必要です。

6 非行事実の告知

これから、検察官（警察）から送られてきている事件の内容を読みます。

よく聞いておいてください。

décision, nous allons déterminer aujourd'hui s'il est nécessaire ou non de vous placer dans un centre d'évaluation pour mineurs afin d'examiner vos problèmes.

Un interprète désigné par le tribunal traduira la conversation. L'interprète a prêté serment d'effectuer une traduction fidèle.

Si jamais vous ne comprenez pas le sens de mes questions, n'hésitez pas à demander une clarification n'importe quand.

3 Vérification du nom du mineur et des autres informations

Quel est votre nom ?

Quelle est votre date de naissance ?

Quelle est votre nationalité ?

Où habitez-vous au Japon ?

Quelle est votre profession ?

4 Notification du droit de garder le silence

Je vais désormais vous poser plusieurs questions, mais vous n'êtes pas obligé de répondre si cela va contre votre volonté. Le fait que vous gardiez le silence ne sera pas utilisé pour vous désavantager.

Cependant, s'il y a des choses que vous souhaitez dire, n'hésitez pas à vous exprimer.

Notez bien que tout ce que vous dites pourra être utilisé comme preuve, à votre avantage ou à votre désavantage.

5 Notification du droit de désigner des personnes de conseil

Vous, ainsi que les personnes ayant votre garde, par exemple votre père ou votre mère, pouvez désigner une personne de conseil qui vous assistera pour cette audience.

La personne de conseil est là pour protéger vos droits et pour vous conseiller tout en coopérant à cette audience du tribunal.

Si vous voulez demander qu'une personne autre qu'un avocat soit votre personne de conseil, il vous faudra l'autorisation du Tribunal des affaires familiales.

6 Notification des faits constituant l'acte/les actes de délinquance

Je vais maintenant vous lire le contenu de l'affaire qui m'a été transmise par le procureur (par la police).

Écoutez bien.

[第4 (非行事実の告知) 参照]

7 少年の弁解の聴取

今読んだ内容について、間違っていることや分からないことがあったら、何でも遠慮なく言ってください。

8 観護措置をとらない場合

君を少年鑑別所に送致しないことにします。

今日は帰ってもらいます。

しかし、これで裁判所の手続が終わったわけではありません。

後日、調査や審判の呼出しがありますから、そのときは必ず裁判所に来てください。

9 観護措置をとる場合 (決定の告知等)

君を少年鑑別所に送致することにします。

少年鑑別所にいる期間は、通常、最長4週間です。なお、場合によっては、最長8週間まで更新されることがあります。

その間、少年鑑別所の技官や家庭裁判所調査官が君の性格、環境などに問題がないかどうか、あるとすれば何かといったことを知るため、心理テストや調査を行うこととなります。この調査等にはできる限り応じてください。

また、自分自身や生活面の問題点は何か、それをどのように直していくかについて、審判で裁判官に説明できるように考えを整理しておいてください。

10 少年鑑別所収容の通知の説明

君が少年鑑別所に収容されることは、君のお父さん、お母さんなどの保護者に通知します。

誰への通知を希望しますか。

その人の名前と住所及び君とその人との関係を教えてください。

11 ウィーン条約の説明

[二国間条約に基づく通報を行うこととされている場合を除く。]

[Voir IV Notification des faits constituant l'acte/les actes de délinquance]

7 Audition des explications du mineur

Si vous trouvez que quelque chose est incorrect ou n'est pas clair concernant ce que je viens de lire, n'hésitez pas à indiquer votre opinion.

8 En cas de non-prise de mesure de détention

Je décide de ne pas vous placer dans un centre d'évaluation pour mineurs.

Aujourd'hui, vous pouvez repartir.

Cependant, les procédures du tribunal ne sont pas terminées.

Vous serez prochainement convoqué pour l'enquête et l'audience. À ce moment-là présentez-vous sans faute au tribunal.

9 En cas de décision d'une mesure de détention (notification de la décision, etc.)

Je décide de vous placer dans un centre de d'évaluation pour mineurs.

La durée maximum de séjour dans un centre d'évaluation pour mineurs est normalement de quatre semaines. En fonction des circonstances, cette durée peut cependant être renouvelée pour atteindre jusqu'à huit semaines maximum.

Pendant cette période, l'agent technique du centre d'évaluation et le délégué à la liberté surveillée du Tribunal des affaires familiales vous feront passer des tests psychologiques et enquêteront sur vous, afin de déterminer s'il y a des problèmes dans votre personnalité, votre environnement, etc., et, si c'est le cas, quels sont ces problèmes. Veuillez coopérer au maximum à cette enquête et à ces tests.

Mettez aussi en ordre vos idées, afin d'être capable d'expliquer au juge, pendant l'audience, quels sont vos problèmes personnels et les problèmes existant dans votre vie, ainsi que la manière dont vous comptez les résoudre.

10 Explications sur la notification de placement dans un centre d'évaluation pour mineurs

Les personnes ayant votre garde, telles que votre père, votre mère etc., seront notifiées de votre placement dans un centre d'évaluation pour mineurs.

À qui souhaitez-vous que cette notification soit donnée ?

Donnez le nom et l'adresse de cette/ces personne(s), ainsi que la nature de votre relation avec elle(s).

11 Explication de la Convention de Vienne

[Sauf en cas de notification sur la base d'une convention bilatérale.]

君の希望があれば、領事関係に関するウィーン条約に基づいて、君の国の駐日大使館などに通報します。

ただし、警察や検察官が通報していない場合に限りです。

通報を希望しますか。

なお、君の国の駐日大使館などに対しては、日本の法令に反しない限り、手紙を出すことができます。

第2 調査手続

1 前置き

私は、君の担当の家庭裁判所調査官の〇〇です。

君について、〇〇事件が検察官（警察）から家庭裁判所に送られてきました。

今日は、この事件のことや君のこれまでの生活、家族のことなどについて話を聴きたいと思います。

今日は、裁判所が選任した通訳人が通訳することになります。通訳人は、誠実に通訳することを宣誓しています。

私の質問の意味が分からない時は、何でも遠慮なく聞いてください。

2 少年の氏名などの確認

名前は何といいますか。

生年月日はいつですか。

国籍はどこですか。

日本ではどこに住んでいますか。

仕事は何をしていますか。

3 手続の説明

家庭裁判所では、本当に君に非行があるかどうかを確認します。

君に非行がある場合は、どうしてそういうことをしてしまったか、今後繰り返さないためにはどうしたらよいかということを考え、どのような指導や教育が

Si vous le souhaitez, l'ambassade ou le consulat de votre pays au Japon seront notifiés de votre détention, dans le cadre de la Convention de Vienne sur les relations consulaires.

Cependant, le tribunal n'effectuera cette notification que si la police ou le procureur ne l'ont pas fait.

Souhaitez-vous que le tribunal effectue cette notification ?

Vous pouvez aussi envoyer une lettre à l'ambassade de votre pays au Japon, dans la mesure où cette lettre ne viole pas les lois et règlements du Japon.

II. Procédure d'enquête

1 Introduction

Je suis _____, délégué à la liberté surveillée du Tribunal des affaires familiales, chargé de votre cas.

L'affaire de _____ vous concernant a été transmise au Tribunal des affaires familiales par le procureur (la police).

Aujourd'hui, je voudrais vous poser des questions au sujet de cette affaire, de votre vie jusqu'ici, de votre famille, etc.,

Aujourd'hui, un interprète désigné par le tribunal traduira la conversation. L'interprète a prêté serment d'effectuer une traduction fidèle.

Si vous ne comprenez pas le sens de mes questions, n'hésitez pas à demander une clarification n'importe quand.

2 Vérification du nom du mineur et des autres informations

Quel est votre nom ?

Quelle est votre date de naissance ?

Quelle est votre nationalité ?

Où habitez-vous au Japon ?

Quelle est votre profession ?

3 Explication des procédures

Le Tribunal des affaires familiales va vérifier si vous avez ou non commis un/des acte(s) de délinquance.

Si vous avez effectivement commis un/des acte(s) de délinquance, le tribunal réfléchira

必要かを考慮して最も適当な処分を決めています。

今日は、今回の事件の原因を君と一緒に考えたいと思います。

君から聴いた内容は、裁判官に報告します。

裁判官は、その内容を踏まえた上で、君の処分を決めます。

4 審判の説明

審判は、裁判の一種です。

審判は、原則として非公開で行うことになっています（が、この事件については、裁判所が被害者等に審判を傍聴することを許可しましたので〔被害者等から傍聴の申出が出ていますので、これを裁判所が許可すれば〕、被害者等が審判を傍聴することができます。傍聴が許されるのは、審判の様子を直接見聞きしてその状況を詳しく知りたいという被害者等の心情を尊重するためであることをよく理解してください。）。

審判廷には、裁判官のほか、家庭裁判所調査官、裁判所書記官、君、君の保護者、君の付添人などが出席します。

審判では、裁判官が君の名前、生年月日、職業、国籍、日本での住居などを確認します。

審判では、今回君がしたとされている非行の内容が告げられ、弁解の機会を与えられます。

君も、審判までに、今回の非行の原因や今後の生活などをよく考えておいてください（また、被害者等が審判の様子を傍聴していますが、落ち着いて自分の考えを話すようにしてください。）。

そして、審判の時には、君の考えていることを率直に話すようにしてください。

また、事実と違う点や納得できない点があれば、その機会に述べてください。

5 処分の説明

家庭裁判所の行う処分には、施設に入って生活指導などを受けるものとして少年院送致、児童自立支援施設送致及び児童養護施設送致があります。

à la raison pour laquelle vous avez agi ainsi, et à la meilleure manière d'éviter que cela se reproduise. Le tribunal déterminera alors quelle est la mesure la plus adéquate à votre égard, en tenant compte du type d'encadrement et d'éducation dont vous avez besoin.

Aujourd'hui, je voudrais réfléchir avec vous sur les causes de l'affaire qui vous concerne.

Je transmettrai au juge les détails de ce que vous me direz.

Le juge décidera de la mesure à prendre votre égard sur la base de ces détails.

4 Explication de l'audience

L'audience est une sorte de procès.

En principe, l'audience n'est pas publique. (Toutefois, pour cette affaire, les victimes peuvent assister à l'audience car le tribunal les y a autorisées [*Dans le cas où les victimes ont déposé une demande d'assister à l'audience, et que le tribunal les y a autorisées*]. Comprenez bien que le tribunal donne aux victimes cette autorisation afin de respecter leur sentiment, dans le cas où elles souhaitent voir et écouter directement l'audience et en connaître précisément les conditions.)

Les personnes présentes à l'audience au tribunal sont le juge, le délégué à la liberté surveillée du Tribunal des affaires familiales, le greffier du tribunal, vous, les personnes ayant votre garde, vos personnes de conseil, etc.

Lors de l'audience, le juge vérifiera votre nom, votre date de naissance, votre profession, votre nationalité, votre domicile au Japon etc.

Lors de l'audience, vous serez notifié de l'acte/des actes de délinquance que vous êtes présumé avoir commis, et il vous sera donné l'occasion de vous expliquer.

Jusqu'à l'audience au tribunal, réfléchissez bien aux causes de l'acte/des actes de délinquance que vous avez commis, et à la manière dont vous allez désormais conduire votre vie. (D'autre part, la présence des victimes à l'audience ne doit pas vous empêcher d'exprimer vos idées avec calme.)

Lors de l'audience exprimez vos idées avec franchise.

Par ailleurs, si des points sont en contradiction avec les faits ou avec votre compréhension, indiquez-les à cette occasion.

5 Explication des mesures

Les mesures prises par le Tribunal des affaires familiales comprennent des mesures d'encadrement éducatif, avec placement dans une institution telle qu'un centre éducatif

また、社会の中で保護観察官や保護司から指導を受ける保護観察もあります。

さらに、検察官送致とって、事件を刑事裁判に回して大人と同様に罰金や懲役という刑罰によって責任をとってもらおうようにすることもあります。

君が十分に反省しており、二度と非行を繰り返すおそれがないと思われる場合には、これらの処分を行わないで事件を終了させることもあります。

また、審判を開かずに今回の手続を終わらせることもあります。

そのほかに、試験観察という中間的な処分もあります。これは、最終的な処分を決める前に、一定の期間、君を適当な人の所に預けて補導してもらったり、家に帰って普通の社会生活をしたりする中で、君の行動や生活状況を観察し、その経過を見て、もう一度審判を開き、最終的な処分を決めるものです。

なお、家庭裁判所による処分がなくても、入国管理当局の判断で、国外退去などを命じられることがあります。

第3 審判手続

1 審判開始の宣言

今から、審判を開いて、君の処分を決めることにします。

今日の手続については、裁判所が選任した通訳人が通訳することになります。

通訳人は、誠実に通訳することを宣誓しています。

私の質問の意味が分からない時は、何でも遠慮なく聞いてください。

2 少年の氏名などの確認

名前は何といいますか。

生年月日はいつですか。

国籍はどこですか。

日本ではどこに住んでいますか。

仕事は何をしていますか。

3 黙秘権の告知

pour mineurs, un centre d'aide au développement de l'autonomie ou un foyer pour enfants.

Les mesures comprennent aussi la liberté surveillée, dans laquelle vous êtes encadré par un délégué à la liberté surveillée et/ou un délégué à la liberté surveillée bénévole, tout en vivant en société.

Le tribunal peut aussi transmettre l'affaire au procureur pour un procès criminel. Dans un tel cas, vous pouvez être condamné à une peine telle qu'une amende ou la réclusion, en assumant votre responsabilité de la même manière que dans une affaire concernant un adulte.

Si le tribunal constate que vous regrettez sincèrement votre conduite, et que vous êtes peu susceptible de commettre à nouveau des actes de délinquance, le tribunal pourra décider de ne pas prendre de mesures à votre égard et de rejeter l'affaire.

Il peut aussi décider de clore la procédure actuelle sans tenir d'audience.

Il existe aussi une mesure intermédiaire appelée « liberté surveillée provisoire ». « Liberté surveillée provisoire » signifie que pendant une période donnée, avant qu'une mesure définitive ne soit décidée à votre égard, vous recevrez l'encadrement d'une personne adéquate, et vous serez autorisé à rentrer chez vous et à continuer normalement votre vie en société, de manière à ce que le tribunal puisse observer votre comportement et votre vie. Sur cette base, le tribunal tiendra une nouvelle audience pour décider d'une mesure définitive à votre égard.

Le Bureau de l'immigration peut aussi vous donner l'ordre de quitter le pays, même si le Tribunal des affaires familiales ne prend aucune mesure à votre égard.

III. Procédures d'audience

1 Déclaration d'ouverture de l'audience

L'audience est maintenant ouverte, afin de décider de la mesure qui sera prise à votre égard.

Le tribunal a désigné un interprète qui vous assistera en traduisant la procédure d'aujourd'hui. L'interprète a prêté serment d'effectuer une traduction fidèle.

Si jamais vous ne comprenez pas le sens de mes questions, n'hésitez pas à demander une clarification n'importe quand.

2 Vérification du nom du mineur et des autres informations

Quel est votre nom ?

Quelle est votre date de naissance ?

Quelle est votre nationalité ?

Où habitez-vous au Japon ?

Quelle est votre profession ?

3 Notification du droit de garder le silence

これから君に質問をしていきますが、君はこれらに無理に答える必要はありません。黙っていてもそれだけで不利になることはありません。

言いたいことがあれば、何でも遠慮なく話してください。

ただし、君が話したことは、君にとって有利か不利かを問わず、証拠として使われることがあります。

4 被害者等の傍聴がある場合の説明

この事件では、被害者等が審判を傍聴しています。傍聴を許可したのは、審判の様子を直接見聞きしてその状況を詳しく知りたいという被害者等の心情を尊重したためです。被害者等が審判の様子を傍聴していますが、落ち着いて自分の考えを話すようにしてください。

5 非行事実の告知

これから、検察官（警察）から送られてきている事件の内容を読みます。よく聞いておいてください。

〔第4（非行事実の告知）参照〕

6 少年の弁解の聴取

今読んだ内容について、間違っていることや分からないことがあったら、何でも遠慮なく言ってください。

7 証人尋問手続

今から、あなたをこの事件の証人として尋問します。

まず、うそをつかないという宣誓をしていただきます。宣誓書の内容を読み上げてください。

（証人）「良心に従って、ほんとうのことを申します。知っていることをかくしたり、無いことを申したりなど、決して致しません。以上のとおり誓います。

証人〇〇」

では、宣誓書に署名押印してください。

証人は、今宣誓したように本当のことを証言してください。

Je vais maintenant vous poser des questions, mais vous n'êtes pas obligé d'y répondre si cela va contre votre volonté. Le fait que vous gardiez le silence ne sera pas utilisé pour vous désavantager.

À tout moment, si vous souhaitez dire quelque chose, n'hésitez pas à vous exprimer.

Notez bien que tout ce que vous dites pourra être utilisé comme preuve, à votre avantage ou à votre désavantage.

4 Explication en cas de présence de victimes à l'audience

Dans cette affaire, les victimes assistent à l'audience. Dans les cas où les victimes souhaitent voir et écouter directement l'audience et en connaître précisément les conditions, le tribunal leur donne cette autorisation afin de respecter leur sentiment. La présence des victimes à l'audience ne doit pas vous empêcher d'exprimer vos idées avec calme.

5 Notification des faits constituant l'acte de délinquance

Je vais maintenant vous lire le contenu de l'affaire qui m'a été transmise par le procureur (par la police). Écoutez bien.

[Voir IV Notification des faits constituant l'acte de délinquance]

6 Audition des explications du mineur

Si vous trouvez que quelque chose est incorrect ou n'est pas clair concernant ce que je viens de lire, n'hésitez pas à indiquer votre opinion.

7 Procédure d'audition des témoins

Je vais maintenant vous interroger en tant que témoin de cette affaire.

Vous devez d'abord prêter serment de ne dire aucun mensonge. Veuillez lire à haute voix le serment.

(Témoin) Je jure de dire la vérité, sans rien dissimuler ou ajouter. _____, témoin.

Veillez signer le serment et apposer votre sceau sur celui-ci.

Il vous est demandé de donner un témoignage véridique, comme vous en avez prêté le serment.

宣誓の上でその証言をすると、偽証罪で処罰されることがあります。

証言することによって証人自身又は証人の近親者が刑事訴追を受けたり、有罪の判決を受けたりするおそれのある事柄については、証言を拒むことができます。その場合には、申し出てください。

〔証人尋問の実施〕

以上で証人尋問を終わります。

証人は、御苦労さまでした。

8 聴取の終了

これで話を聴くのを終わりにして、君に対する処分を決めることにします。最後に何か言っておきたいことがあれば言ってください。

9 調査官の意見陳述

既に提出している少年調査票記載の意見欄のとおりで、特に付け加えることはありません。

10 付添人の意見陳述

意見書のとおりで、特に付け加えることはありません。

11 決定などの告知及びその説明

それでは、今から君の処分を告知します。

〔第5（決定などの告知及びその説明）参照〕

12 抗告権の告知（保護処分に付された場合）

この決定に不服があるときは、君や君の法定代理人及び付添人は、抗告することができます。

抗告する場合には、2週間以内に、〇〇高等裁判所宛ての抗告の申立書をこの裁判所に出してください。

抗告の申立書は、少年院などの施設の長又はその代理者を通じて出すことができます。

13 ウィーン条約の説明（少年院送致や少年院への戻し収容の場合）

En cas de faux témoignage donné sous serment, vous serez puni pour délit de faux témoignage.

Vous pouvez refuser de témoigner si votre témoignage est susceptible d'entraîner des poursuites ou un verdict de culpabilité à votre égard ou à l'égard de vos proches. Dans ce cas, veuillez indiquer votre refus au tribunal.

[Audition du témoin]

L'audition du témoin est à présent terminée.

Nous vous remercions de votre coopération.

8 Fin de l'audition

L'audition de ce que vous avez à dire est à présent terminée, le tribunal va maintenant décider d'une mesure à votre égard. Si vous souhaitez ajouter quelque chose en conclusion, faites-le maintenant.

9 Exposé de l'avis du délégué à la liberté surveillée du Tribunal des affaires familiales

Mon avis est tel que je l'ai indiqué à la rubrique prévue dans le rapport d'enquête sociale sur le mineur, que j'ai remis. Je n'ai donc rien de particulier à ajouter.

10 Exposé de l'avis de la personne de conseil

Mon avis est tel que je l'ai indiqué dans le document prévu. Je n'ai donc rien de particulier à ajouter.

11 Notification et explication de la décision

Vous allez maintenant être notifié de la mesure prise à votre égard.

[Voir V Notification et explication de la décision]

12 Notification du droit de faire appel (dans le cas d'une mesure éducative)

Si vous avez une objection vis-à-vis de cette décision du tribunal, vous, votre représentant légal ou vos autres personnes de conseil, avez la possibilité de faire appel.

Si vous décidez de faire appel, vous disposez d'un délai de deux semaines pour déposer une déclaration d'appel à la Cour d'appel de _____ par l'intermédiaire de ce tribunal.

La déclaration d'appel peut-être soumise par l'intermédiaire du directeur ou du représentant d'un établissement tel qu'un centre éducatif pour mineurs, etc.

13 Explication sur la Convention de Vienne (En cas de placement ou de remise en détention dans un centre éducatif pour mineurs)

[二国間条約に基づく通報を行うこととされている場合を除く。]

君の希望があれば、領事関係に関するウィーン条約に基づいて、君の国の駐日大使館などに通報します。

ただし、今までにこの事件で通報していない場合に限りです。

通報を希望しますか。

なお、君の国の駐日大使館などに対しては、日本の法令に反しない限り、手紙を出すことができます。

第4 非行事実の告知

1 窃盗罪（万引）の例

「君は、平成○年5月10日午後1時23分頃、東京都○○区○○町1丁目5番12号所在の株式会社○○店において、同店の店長であるAが管理していた万年筆5本（販売価格合計5万円）を盗んだものです。」

2 窃盗罪（バイク盗）の例

「君は、平成○年10月12日午後3時35分頃、東京都○○区○○町2丁目3番5号先路上において、Aが所有する第一種原動機付自転車1台（時価約15万円相当）を盗んだものです。」

3 遺失物等横領罪の例

「君は、平成○年7月21日午後9時30分頃、東京都○○区○○町5丁目3番4号所在の○○自転車置場において、その場所に放置されていたAが所有する自転車1台（時価約6000円相当）を発見し、これを自分の物にするつもりで拾得して横領したものです。」

4 傷害罪の例

「君は、平成○年1月15日午後10時30分頃、東京都○○区○○町1丁目6番15号先路上において、Aが君の身体にぶつかったことから口喧嘩し、腹を立てて、持っていた長さ約50センチメートルの木棒でAの頭部を5、6回

[Sauf en cas de notification effectuée sur la base d'une convention bilatérale.]

Si vous le souhaitez, l'ambassade ou le consulat de votre pays au Japon seront notifiés de votre détention, dans le cadre de la Convention de Vienne sur les relations consulaires.

Le tribunal n'effectuera cette notification que si elle n'a pas encore été faite dans cette affaire.

Souhaitez-vous que le tribunal effectue cette notification ?

Vous pouvez aussi envoyer une lettre à l'ambassade de votre pays dans la mesure où cette lettre ne viole pas les lois et règlements du Japon.

IV. Notification des faits constituant l'acte/les actes de délinquance

1 Exemple d'un vol (vol à l'étalage)

« Le 10 mai 20___, à environ 1h23 de l'après-midi, au magasin _____ situé au numéro 5-12, 1-chome, _____ cho, _____ ku, Tokyo, vous avez volé cinq stylos à plume (d'une valeur totale de 50 000 ¥ au prix affiché) qui étaient sous la responsabilité du directeur du magasin. »

2 Exemple d'un vol (vol de motocyclette)

« Le 12 octobre 20___, à environ 3h35 de l'après-midi, dans la rue située devant le numéro 3-5, 2-chome, _____ cho, _____ ku, Tokyo, vous avez volé un deux-roues motorisé de 1^{re} catégorie (valant 150 000 yens au prix actuel), appartenant à _____. »

3 Exemple de l'appropriation d'un objet perdu

« Le 21 juillet 20___, à environ 9h30 du matin, dans le parking à vélos _____ situé au numéro 3-4, 5-chome, _____ cho, _____ ku, Tokyo, vous avez trouvé une bicyclette (d'une valeur approximative de 6 000 yens au prix actuel) appartenant à _____, et que son propriétaire avait laissée là, et vous vous l'êtes appropriée comme si c'était un objet trouvé. »

4 Exemple de blessures physiques

« Le 15 janvier 20___, à environ 10h30 du soir, dans la rue située devant le numéro 6-15, 1-chome, _____ cho, _____ ku, vous vous êtes disputé avec A parce qu'il vous avait heurté. Vous vous êtes alors mis en colère et l'avez frappé violemment à la tête cinq ou six fois au moyen d'un bâton de bois long de 50 cm que vous portiez avec vous. Vous

強く叩き、それによって、Aに対し、加療約3週間を要する前頭部裂傷の傷害を負わせたものです。」

5 強盗罪の例

「君は、生活費に困り、通行人からお金を奪い取ろうと考えて、平成○年6月13日午後10時30分頃、東京都○○区○○町3丁目1番12号先路上において、通りかかったA（当時18歳）を近くの路地に連れていき、Aに対し、持っていた登山ナイフを突きつけながら「金出せ。金出せ。」と言って脅迫し、Aが反抗できない状態にした上、Aの所有していた現金3万円を差し出させて奪い取ったものです。」

6 殺人罪の例（その1）

「君は、平成○年7月12日午後10時30分頃、東京都○○区○○町3丁目10番5号所在の平和住宅1号室において、君の長男A（当時生後1か月）の養育に疲れ、将来を悲観して、Aを殺そうと決意し、持っていたタオルでAの頸部を絞めつけるなどし、そのことによりAを窒息死させて殺害したものです。」

7 殺人罪の例（その2）

「君は、平成○年1月31日午後10時30分頃、東京都○○区○○町6丁目3番4号先路上において、A（当時19歳）から身体が触れたことで因縁をつけられ、突然腹部などを数回足蹴りするなどの暴行を加えられたことにかつとなり、とっさに、殺意をもって、持っていたナイフ（刃体の長さ約15センチメートル）で、Aの右胸部を数回突き刺し、右胸部に刺し傷を負わせ、間もなく、その場所において、その刺し傷による出血多量によりAを死亡させて殺害したものです。」

8 覚せい剤取締法違反罪の例

「君は、法定の除外事由がないのに、平成○年10月21日午後10時30分頃、東京都○○区○○町1丁目2番8号所在の平和住宅2号室において、フェニルメチルアミノプロパンの塩類若干量を含有する水溶液を、自分の身体に注

lui avez ainsi infligé des déchirures sur le front qui nécessitent environ trois semaines de traitement médical. »

5 Exemple d'un vol

« Vous avez conçu le projet de dérober l'argent d'un passant parce que vous aviez des difficultés à trouver de l'argent pour vivre, et le 13 juin 20___, à environ 10h30 du soir, dans la rue située devant le numéro 1-12, 3-chome, _____cho, _____ku, Tokyo, vous avez entraîné un passant nommé A (alors âgé de 18 ans) dans une ruelle proche, pointé sur lui un couteau d'alpinisme que vous portiez avec vous, et l'avez menacé dans les termes suivants : « カネダセ, カネダセ ». Vous l'avez ainsi empêché de vous résister, et lui avez dérobé les 30 000 yens en liquide qu'il possédait, en l'obligeant à vous les donner. »

6 Exemple d'un meurtre (1)

« Le 12 juillet 20___, à environ 10h30 du soir, dans l'appartement numéro 1 de la résidence Heiwa Jutaku, située au numéro 10-5, 3-chome, _____cho, _____ku, Tokyo, vous trouvant épuisé en raison de l'éducation de votre fils aîné A (alors âgé d'un mois), et désespéré quant à l'avenir, vous avez décidé de tuer A, et l'avez ainsi assassiné par étouffement en l'étranglant avec une serviette que vous possédiez. »

7 Exemple d'un meurtre (2)

« Le 31 janvier 2000, à environ 10h30 du matin, dans la rue située devant le numéro 3-4, 6-chome, _____cho, _____ku, Tokyo, vous avez été agressé par A (alors âgé de 19 ans) qui a soudainement exercé des violences sur vous, notamment plusieurs coups de pied dans l'estomac et d'autres parties du corps, sous le prétexte que vous l'aviez touché. Vous vous êtes alors emporté, et, pris soudainement d'une intention meurtrière, vous avez porté plusieurs coups de couteau, avec le couteau que vous possédiez (muni d'une lame longue d'environ 15 cm), dans la poitrine droite de A, lui infligeant des blessures à cet endroit, et l'avez ainsi assassiné sur ce lieu même, provoquant sa mort en raison du volume de sang perdu suite à ses blessures. »

8 Exemple d'une violation de la loi sur le contrôle des drogues stimulantes

« Le 21 octobre 20_____, à environ 10h30 du soir, dans l'appartement numéro 2 de la résidence Heiwa Jutaku, située à 2-8, 1-chome, _____cho _____ku, Tokyo, vous avez utilisé une drogue stimulante en vous injectant dans le bras droit une solution

射し、覚せい剤を使用したものです。」

9 毒物及び劇物取締法違反罪の例

「君は、平成○年5月12日午後10時30分頃、東京都○○区○○町2丁目3番5号先路上において、興奮、幻覚又は麻酔の作用を有する劇物で、政令で定められたトルエンを、みだりに吸入したものです。」

10 過失運転致傷罪の例

「君は、平成○年10月12日午後3時35分頃、東京都○○区○○町3丁目7番8号先路上において、普通乗用自動車を運転して○○区○○町方面から○○区○○町方面に向かい、時速約80キロメートルの速度で進行中、その場所の手前は左方にカーブして前方の見通しが困難であったので、あらかじめ減速し安全に走行できるようにハンドル、ブレーキなどを的確に操作して進行すべき運転者としての注意義務があったのに、これを怠り、先程の速度のまま的確なハンドル操作をせずに進行した過失により、自分の自動車を対向車線に進入させ、対向して進行してきたA（当時21歳）運転の普通乗用自動車の前部に自分の自動車の右前部を衝突させ、Aに全治約2か月間を要する右大腿骨骨折などの傷害を負わせたものです。」

11 道路交通法違反（無免許運転）の例

「君は、公安委員会の運転免許を受けないで、平成○年10月5日午後10時30分頃、東京都○○区○○町5丁目9番5号○○町交差点付近路上において、自動二輪車を運転したものです。」

12 道路交通法違反（速度違反）の例

「君は、平成○年2月13日午後10時30分頃、公安委員会が道路標識によって最高速度を時速40キロメートルと定めた東京都○○区○○町2丁目5番7号付近道路において、その最高速度を超える時速80キロメートルで普通乗用自動車を運転したものです。」

13 売春防止法違反の例

contenant une certaine quantité de sels de phényl-méthyl-amino-propane, en l'absence d'une cause d'exception légale. »

9 Exemple d'une violation de la loi sur le contrôle des substances toxiques et délétères

« Le 12 mai 20___, à environ 10h30 du soir, dans la rue située devant le numéro 3-5, 2-chome, _____cho, _____ku, Tokyo, vous avez inhalé du toluène, une substance toxique ayant des effets stimulants, hallucinogènes et anesthésiants, désignée comme telle par décret du Cabinet. »

10 Exemple de blessures physiques causées par négligence dans la conduite d'un véhicule

« Le 12 octobre 20___, à environ 3h35 de l'après-midi, sur la route devant le numéro 7-8, 3-chome, _____cho, _____ku, Tokyo, vous conduisiez une voiture particulière à une vitesse d'environ 80 km à l'heure, en venant de la direction de _____cho, _____ku, et allant en direction de _____cho, _____ku. Étant donné qu'à cet endroit, la visibilité vers l'avant était difficile, puisque la route était en courbe vers la gauche, vous aviez, en tant que conducteur, une obligation de prudence vous demandant de ralentir et de contrôler convenablement le volant, les freins, etc., pour rouler en toute sécurité. Manquant à cette obligation, vous avez commis la négligence de maintenir la même allure, sans action convenable sur le volant, les freins, etc., ce qui a amené votre véhicule à pénétrer sur la voie de sens opposé et à entrer en collision, par son angle droit, avec l'avant d'une voiture particulière conduite par A (alors âgé de 21 ans), qui avançait en sens opposé, occasionnant ainsi à A des blessures, notamment une fracture du fémur droit, dont la guérison complète a demandé environ 2 mois. »

11 Exemple d'une violation de la loi sur la circulation routière (conduite sans permis)

« Le 5 octobre 20___, à environ 10h30 du soir, sur la route à proximité de l'intersection du numéro 9-5, 5-chome, _____cho, _____ku, Tokyo, vous avez conduit un deux-roues motorisé, sans permis de conduire délivré par la Commission de sécurité publique. »

12 Exemple d'une violation de la loi sur la circulation routière (excès de vitesse)

« Le 13 février 2000, à environ 10h30 du soir, sur la route à proximité du numéro 5-7, 2-chome, _____cho, _____ku, Tokyo, à l'endroit où la Commission de sécurité publique a limité la vitesse maximum à 40 km/h par un panneau de signalisation routière, vous avez conduit une voiture particulière à une vitesse de 80 km/h, dépassant ainsi la vitesse maximale indiquée. »

13 Exemple d'une violation de la Loi anti-prostitution

「君は、売春をする目的で、平成○年3月10日午後6時35分頃、東京都○○区○○町1丁目1番18号付近路上において、その場所を通行中のAに対し、「遊びませんか社長。ホテルいい3万円。」などと言って誘い、公衆の目に触れるような方法で人を売春の相手方となるよう勧誘したものです。」

14 出入国管理及び難民認定法違反の例

「君は、○○国国籍を有する外国人で、平成○年6月12日、○○国の政府が発行した旅券を持って、千葉県成田市にある新東京国際空港に上陸して日本の国に入ったものですが、在留期限は同年6月27日までであったのに、その日までに日本の国から出国せず、平成○年6月9日まで、東京都○○区○○町3丁目5番12号に住み、在留期間を経過して不法に日本の国に残留したものです。」

15 ぐ犯の例

「君は、○○国の養父母のもとで育ち、平成○年4月20日頃、出稼ぎのために来日し、その年の5月1日頃からストリップ劇場でダンサーとして働くようになりました。その後、同じような劇場数か所を転々とし、現在は、東京都○○区○○町2丁目3番8号所在の、暴力団○○組幹部で覚せい剤取締法違反の前科、前歴を有するA方のアパートに泊まり、A及びその仲間と共に無為徒食の生活を送っていました。そして、この間、君は、数十名の劇場の客や複数の暴力団組員と性的関係を持って小遣いをもらうなど、いかがわしい場所に入りするとともに、犯罪性のある人と交際しています。君の性格、環境に照らし、将来、売春防止法違反あるいは覚せい剤取締法違反の罪を犯すおそれがあるというのが事件の内容です。」

第5 決定などの告知及びその説明

1 保護観察決定などの告知及びその説明

(1) 保護観察決定の告知及びその説明

« Dans le but de pratiquer la prostitution, dans la rue à proximité du numéro 1-18, 1-chome, _____cho, _____ku, Tokyo, à environ 6h35 du soir, le 10 mars 20__, vous avez sollicité A, qui marchait à cet endroit, avec les mots suivants : « アソビマセンカ、シャチヨウ。ホテルイイサンマンエン ». Vous avez ainsi, de manière voyante, invité en public cet homme à accepter votre offre de prostitution. »

14 Exemple d'une violation de la Loi sur le contrôle de l'immigration et la reconnaissance des réfugiés

« Vous êtes une personne de nationalité _____. Le 12 juin 20____, vous êtes entré au Japon en atterrissant au nouvel aéroport international de Tokyo, à Narita, préfecture de Chiba, en possession d'un passeport délivré par le gouvernement de _____. Alors que votre durée de séjour autorisé au Japon expirait le 27 juin de la même année, vous n'avez pas quitté le Japon jusqu'à cette date, mais avez continué à habiter au numéro 5-12, 3-chome, _____cho, _____ku, Tokyo, jusqu'au 9 juin 20__, restant ainsi illégalement au Japon au-delà de votre durée de séjour autorisée. »

15 Exemple de prédélinquance

« Vous avez été élevée par vos parents adoptifs à/en/au(x) _____, et aux environs du 20 avril 20____, vous êtes venue au Japon pour travailler. Vers le 1^{er} mai de la même année, vous avez commencé à travailler comme danseuse dans un club de strip-tease. Vous êtes ensuite passée d'un club de strip-tease à l'autre, et vous logez actuellement dans un appartement situé au numéro 3-8, 2-chome, _____cho, _____ku, Tokyo, appartenant à A, qui est l'un des dirigeants de l'organisation criminelle _____, et qui a des antécédents de condamnation pour violation de la Loi sur le contrôle des drogues stimulantes. Vous avez vécu dans l'oisiveté avec A et ses fréquentations, et pendant cette période, avez fréquenté des endroits de réputation douteuse, et vous êtes associée à des personnes à tendances criminelles, en recevant de l'argent pour des relations sexuelles avec des dizaines de visiteurs de club de strip-tease, ainsi que plusieurs membres de l'organisation criminelle en question. La teneur de cette affaire est que vous êtes considérée susceptible de commettre à l'avenir des violations de la Loi anti-prostitution ou de la Loi sur le contrôle des drogues stimulantes, à la lumière de votre personnalité et de votre environnement. »

V. Notifications et explications de décisions

1 Notification et explication de décisions de liberté surveillée, etc.

(1) Notification et explication d'une décision de liberté surveillée

君を〇〇保護観察所の保護観察に付します。

保護観察では、社会生活をしながら、保護観察官や保護司の指導を受けることとなります。

(2) 交通短期保護観察の処遇勧告の告知及びその説明

君を交通保護観察に付します。ただし、保護観察所に対しては、短い期間で処遇が終わるようという勧告を付けておくこととします。

交通保護観察では、社会生活をしながら、保護観察官による指導を受けるほか、交通に関する講習を受けることとなります。

2 児童自立支援施設又は児童養護施設送致決定の告知及びその説明

君を児童自立支援施設（児童養護施設）に送致します。

君は児童自立支援施設（児童養護施設）に入所し、施設の職員から生活指導などを受けることとなります。

3 少年院送致決定などの告知及びその説明

(1) 少年院送致決定の告知及びその説明

君を第〇種少年院に送致します。

君は、少年院に収容され、生活指導などの矯正教育を受けることとなります。

(2) 処遇勧告の告知及びその説明

ア 短期間の処遇勧告の説明

少年院に対しては、短い期間で処遇を終えることが適当であるとの処遇勧告を付けておくこととします。

イ 特別短期間の処遇勧告の説明

少年院に対しては、特に短い期間で処遇を終えることが適当であるとの処遇勧告を付けておくこととします。

また、できる限り日課の一部を君に計画させ、実施させることなど開放的な教育を受けることができるよう求める勧告も付けておくこととします。

4 不処分決定の告知

Le tribunal vous place en liberté surveillée sous la supervision du bureau de liberté surveillée de _____.

Pendant la liberté surveillée, vous serez encadré par un délégué à la liberté surveillée ou un délégué à la liberté surveillée bénévole, tout en poursuivant votre vie en société.

(2) Notification et explication d'une recommandation de mesure de liberté surveillée de courte durée pour mineurs coupables d'infraction aux règles de circulation

Le tribunal vous place en liberté surveillée pour mineurs coupables d'infraction aux règles de circulation. La mesure est toutefois accompagnée d'une recommandation au bureau de liberté surveillée pour que la mesure s'achève après une courte durée.

Pendant la liberté surveillée pour mineurs coupables d'infraction aux règles de circulation, vous serez encadré par un délégué à la liberté surveillée et suivrez un cours sur la sécurité routière, tout en poursuivant votre vie en société.

2 Notification et explication d'une décision de placement dans un centre d'aide au développement de l'autonomie ou un foyer pour enfants

Le tribunal vous place dans un centre d'aide au développement de l'autonomie (dans un foyer pour enfants).

Vous serez accueilli dans un centre d'aide au développement de l'autonomie (un foyer pour enfants), et y recevrez un encadrement éducatif dans la vie quotidienne assuré par les agents de cet établissement.

3 Notification et explication d'une décision de placement dans un centre éducatif pour mineurs, etc.

(1) Notification et explication d'une décision de placement dans un centre éducatif pour mineurs

Le tribunal vous place dans un centre éducatif pour mineurs de _____ catégorie. Vous serez accueilli dans un centre éducatif pour mineurs et y recevrez une éducation corrective, notamment à travers un encadrement éducatif dans la vie quotidienne.

(2) Notification et explication d'une recommandation de mesure

a. Explication d'une recommandation de mesure de courte durée

La mesure est toutefois accompagnée d'une recommandation au centre éducatif pour mineurs, indiquant qu'il serait adéquat que la mesure s'achève après une courte durée.

b. Explication d'une recommandation de mesure à durée spécialement courte

La mesure est toutefois accompagnée d'une recommandation au centre éducatif pour mineurs, indiquant qu'il serait adéquat que la mesure s'achève après une durée spécialement courte.

La mesure est aussi accompagnée d'une recommandation demandant que vous receviez un enseignement de type ouvert, vous permettant par exemple de planifier et de mettre en pratique vous-même une partie des tâches quotidiennes, dans la mesure du possible.

4 Notification d'une décision de rejet

君を保護処分につさないことにします。

5 知事又は児童相談所長への送致決定の告知

君の事件を〇〇児童相談所長（〇〇知事）に送致します。

6 検察官送致決定の告知

君の事件を〇〇地方検察庁の検察官に送致します。

7 強制的措置許可決定の告知

君の事件を〇〇児童相談所長に送致します。

児童相談所長が、君に対し、平成〇年〇月〇日から、〇年間に、通算〇〇日を限度として、君の自由を制限する強制的な措置をとることを許可することとします。

8 強制的措置不許可決定の告知

児童相談所長が君に対して君の自由を制限するような強制的な措置をとることは、許可しないこととしました。

9 試験観察決定などの告知及びその説明

君を家庭裁判所調査官〇〇の観察に付します。

試験観察は、君に対する最終的な処分を決める前に、一定の期間、君を〇〇に預けて補導してもらいながら（家に帰って普通の社会生活をしながら）、君の行動や生活状況を観察し、その経過を見て、もう一度審判を開き、最終的な処分を決めるものです。

君に対し、試験観察中に守るべき事柄として、①・・・、②・・・を指示します。

10 没取決定の告知

押収してある〇〇を没取します。

11 訴訟費用負担決定の告知

家庭裁判所に送致される前の国選弁護費用として要した訴訟費用〇〇万円は君に負担させることにします。

Le tribunal décide que vous ne ferez pas l'objet de mesures éducatives.

- 5 Notification d'une décision de transmission au gouverneur ou au directeur d'un centre d'orientation pour l'enfance

Le tribunal décide de transmettre l'affaire vous concernant au directeur du centre d'orientation pour l'enfance de _____ (au gouverneur de _____)

- 6 Notification d'une décision de transmission au procureur

Le tribunal décide de transmettre l'affaire vous concernant au procureur du parquet de district de _____.

- 7 Notification de décision autorisant des mesures coercitives

Le tribunal décide de transmettre l'affaire vous concernant au directeur du centre d'orientation pour l'enfance de _____.

Le tribunal décide d'autoriser le directeur du centre d'orientation pour l'enfance de _____ à prendre à votre égard des mesures coercitives restreignant votre liberté pendant X années à partir du _____, mais limitées à un total de _____ jours.

- 8 Notification de décision n'autorisant pas de mesures coercitives

Le tribunal décide de ne pas autoriser le directeur du centre d'orientation pour l'enfance de _____ à prendre à votre égard des mesures coercitives restreignant votre liberté.

- 9 Notification et explication d'une décision de liberté surveillée provisoire

Le tribunal décide de vous placer en liberté surveillée provisoire sous la supervision de _____, délégué à la liberté surveillée du Tribunal des affaires familiales.

La liberté surveillée provisoire consiste à vous confier à _____, pour qu'il/elle assure votre encadrement pendant une période donnée, avant que la mesure définitive ne soit décidée (pendant cette période, vous vivrez normalement en société en habitant chez vous). Le tribunal observera votre comportement et votre vie pendant cette période, et sur cette base, il tiendra une nouvelle audience pour décider d'une mesure définitive à votre égard.

Vous avez comme instructions ① de _____, et ② de _____, en tant qu'obligations à respecter pendant la liberté surveillée provisoire.

- 10 Notification de décision de confiscation

Le tribunal décide de confisquer l'article _____ qui a été saisi.

- 11 Notification de décision de mise à charge des frais de procédure

Le tribunal décide de mettre à votre charge les _____ yens de frais de procédure qui ont été nécessités pour les frais d'avocat désigné par le tribunal, avant que votre affaire ne soit transmise au Tribunal des affaires familiales.

12 戻し収容決定の告知

君を第○種少年院に戻して収容します。

13 収容継続決定の告知

君を平成○年○月○日まで第○種少年院に継続して収容します。

14 保護処分取消決定の告知

君に対する保護観察（児童自立支援施設送致，児童養護施設送致，少年院送致）
決定を取り消します。

15 施設送致決定の告知

〔前記 2（児童自立支援施設又は児童養護施設送致決定の告知及びその説明）
及び 3（少年院送致決定などの告知及びその説明）参照〕

12 Notification d'une décision de remise en détention

Le tribunal décide de vous remettre en détention dans un centre éducatif pour mineurs de _____ catégorie.

13 Notification de décision de poursuite de détention

Le tribunal décide de poursuivre votre détention dans un centre éducatif pour mineurs de ___ catégorie jusqu'au _____ 20__.

14 Notification de décision d'annulation de mesures éducatives

Le tribunal annule la décision de placement en liberté surveillée (de placement dans un centre d'aide au développement de l'autonomie, de placement dans un foyer pour enfants, de placement dans un centre éducatif pour mineurs).

15 Notification d'une décision de placement dans un établissement

[Voir 2 (Notification et explication d'une décision de placement dans un centre d'aide au développement de l'autonomie ou un foyer pour enfants) et 3 (Notification et explication d'une décision de placement dans un centre éducatif pour mineurs) ci-dessus]

第6 書式例

書式1 少年と保護者の皆さんへ（身柄事件用）

少年と保護者の皆さんへ

1. この度、少年は、（ ）保護事件について（ ）少年鑑別所へ送致されることになりました。少年に対しては、以後、原則として、次の手続で処分が決められます。
 - (1) 観護措置
少年鑑別所では、少年の身柄を確保し、併せて、少年の心身の鑑別を行います。ここでの収容期間は、通常、最大限4週間です。なお、場合によっては、最大限8週間まで更新されることがあります。
 - (2) 調査
(1)の鑑別と並行して、家庭裁判所調査官が少年に関する調査を行います。この調査の目的は、非行の原因、少年の性格や行動のみならず、家庭、学校、職場、友人関係などの環境等について調査し、少年に対して最も有効適切な処分は何かを明らかにすることです。
 - (3) 審判
(2)の調査が終わると、審判を開きます。審判は、裁判の一種ですが、非公開で、審判廷には少年、保護者（付添人があるときは付添人も）が出席します（場合により、学校の先生、保護司、検察官等も出席することがあります。）。
審判では、少年が非行を犯したかどうか、また、少年の性格、環境などに問題がないかどうかについて審理をし、家庭裁判所調査官の調査結果などを参考にして、裁判官が少年に対する処分を決めます。裁判官等から尋ねられたことについて、事実と違う点や納得のできない点があれば述べてください。また、調べてほしい証人や証拠があれば申し出ることもできます（裁判所で必要と認めるときは、取り調べます。）。
2. 家庭裁判所で行う主な処分は次のとおりです。
 - (1) 保護観察
通常、の社会生活を続けながら、保護観察所の保護観察官などの指導、監督を受けて、少年の改善、更生を図るものです。
 - (2) 児童自立支援施設又は児童養護施設送致
少年をこれらの施設に入所させて、必要な指導又は養護を行うものです。
 - (3) 少年院送致
少年を少年院に収容して、矯正教育を行うものです。
 - (4) 検察官送致
成人の場合と同様の手続による刑事裁判を受けさせるため、事件を検察官に送致するものです。
 - (5) 不処分
少年に非行がないときや、非行があっても何らの処分をするまでもないときになされるものです。
 - (6) 試験観察
(1)から(5)までの最終処分を決めるため、一定の期間、少年の行動、成績を観察するものです。試験観察の期間中、民間の施設等に少年を預けて指導してもらうこと（補導委託）もあります。
3. 少年や保護者には、次の権利などが認められています。
 - (1) 付添人選任権
少年及び保護者は、付添人を選任することができます。付添人は、家庭裁判所の審判の協力者であるとともに、刑事事件の弁護人に当たるものですが、弁護士に限らず、保護者や一般の人でも、裁判所の許可があれば、付添人となることができます。
 - (2) 黙秘権
少年は、裁判官などの質問に無理に答える必要はありません。ただし、裁判所は、少年が述べたことを参考にして、適切な処分を決めるわけですから、言いたいことは何でも正確に述べてください。
 - (3) 不服申立書
2の(1)から(3)までの決定に対して不服があれば、少年、法定代理人又は付添人は、2週間以内に高等裁判所に抗告の申立てをすることができます。
4. 以上のほか、分からないことがあれば、担当の書記官又は調査官に尋ねてください。

平成 年 月 日

家庭裁判所

支部

À l'intention du mineur et des personnes ayant sa garde :

1. Concernant l'affaire de mineur _____, il est ordonné que le mineur soit placé au centre d'évaluation pour mineurs de _____. En principe, une mesure pour le mineur va désormais être décidée à travers les procédures suivantes.
 - (1) Mesure de détention
Le centre d'évaluation pour mineurs accueille le mineur en détention et procède à un examen mental et physique. La durée maximum de détention est normalement de quatre semaines. En fonction des circonstances, cette durée peut cependant être renouvelée pour atteindre jusqu'à huit semaines maximum.
 - (2) Enquête
Parallèlement à l'évaluation du paragraphe (1) ci-dessus, le délégué à la liberté surveillée du Tribunal des affaires familiales mène une enquête sur le mineur. Cette enquête, qui a pour but de déterminer la mesure la plus efficace et la plus adéquate pour le mineur, examine les causes de l'acte de délinquance et la personnalité et le comportement du mineur, ainsi que son environnement, par exemple sa famille, son école, son lieu de travail, ses relations, etc.
 - (3) Audience
Lorsque l'enquête décrite au paragraphe (2) ci-dessus est terminée, une audience a lieu. Une audience est une sorte de procès, et elle n'est pas ouverte au public. Le mineur et la personne ayant sa garde (et des personnes de conseil si celles-ci ont été désignées) sont présents à l'audience au tribunal (des enseignants, des délégués à la liberté surveillée bénévoles, des procureurs, etc., peuvent aussi être présents, selon les cas).
L'audience examine si le mineur a commis ou non l'acte de délinquance présumé, et étudie les problèmes impliquant la personnalité et l'environnement du mineur. Le juge décide d'une mesure pour le mineur en se référant, entre autres, au rapport du délégué à la liberté surveillée du Tribunal des affaires familiales. Si jamais des questions posées par le juge, etc., sont en contradiction avec les faits, ou avec ce que le mineur a compris, il est recommandé au mineur d'exprimer son opinion. Le mineur peut aussi demander au juge d'interroger des témoins et d'examiner des preuves (le tribunal interrogera ces témoins et examinera ces preuves s'il en reconnaît la nécessité.)
2. Les principales mesures prises par le Tribunal des affaires familiales sont les suivantes :
 - (1) Liberté surveillée
Tout en poursuivant normalement sa vie en société, le mineur reçoit l'encadrement et la supervision d'un délégué à la liberté surveillée d'un bureau de liberté surveillée, etc., dans un objectif de réhabilitation et de redressement.
 - (2) Placement dans un centre d'aide au développement de l'autonomie ou un foyer pour enfants
Le mineur est admis dans l'un de ces établissements pour y recevoir l'encadrement ou les soins nécessaires.
 - (3) Placement dans un centre éducatif pour mineurs
Le mineur est placé dans un centre éducatif pour mineurs pour y recevoir une éducation corrective.
 - (4) Transmission de l'affaire à un procureur
L'affaire concernant le mineur est transmise à un procureur pour que le mineur fasse l'objet d'une procédure judiciaire pénale, selon les mêmes procédures que dans une affaire concernant un adulte.
 - (5) Rejet
L'affaire est rejetée si aucun acte de délinquance du mineur n'est constaté, ou bien si l'acte de délinquance ne mérite pas la prise de mesures.
 - (6) Liberté surveillée provisoire
En vue de décider d'une mesure définitive parmi celles mentionnées de (1) à (5) ci-dessus, le comportement du mineur et ses résultats sont surveillés pendant une période fixée. Pendant la liberté surveillée provisoire, le mineur pourra être confié à un établissement privé, etc., pour y recevoir un encadrement (délégation de l'encadrement d'un mineur).
3. Les droits reconnus au mineur et à la personne ayant sa garde comprennent notamment les droits suivants.
 - (1) Droit de désigner des personnes de conseil
Le mineur et la/les personne(s) ayant sa garde peuvent désigner des personnes de conseil. Une personne de conseil coopère avec le Tribunal des affaires familiales pendant l'audience, et constitue l'équivalent d'un avocat défenseur dans une affaire criminelle. Un avocat peut devenir personne de conseil, de même qu'une personne ayant la garde du mineur ou une personne autre qu'un avocat, si le tribunal l'autorise.
 - (2) Droit de garder le silence
Le mineur n'est pas obligé de répondre contre sa volonté à des questions posées par le juge ou par d'autres personnes. Il est cependant conseillé au mineur de dire avec précision tout ce qu'il souhaite déclarer, car le tribunal décide d'une mesure adéquate sur la base de ce que le mineur a déclaré durant l'audience.
 - (3) Droit de faire appel
Si le mineur a une objection contre la décision d'une des mesures mentionnées des points (1) à (3) du paragraphe 2. ci-dessus, le mineur lui-même, son représentant légal ou sa personne de conseil disposent d'un délai de deux semaines pour faire appel devant la Cour d'appel.
4. Si vous souhaitez poser des questions sur des points que vous ne comprenez pas, adressez-vous au greffier ou au délégué à la liberté surveillée du Tribunal des affaires familiales responsable.

Date : _____

Tribunal des affaires familiales de : _____ Annexe de : _____

書式2 少年と保護者の皆さんへ（在宅事件用）

少年と保護者の皆さんへ

1. この度、少年は、（ ）保護事件について家庭裁判所で審判を受けることになりました。
審判は、裁判の一種ですが、非公開で、審判廷には少年、保護者（付添人があるときは付添人も）が出席します（場合により、学校の先生、保護司、検察官等も出席することがあります。）。審判では、少年が非行を犯したかどうか、また、少年の性格、環境などに問題がないかどうかについて審理をし、家庭裁判所調査官の調査結果などを参考にして、裁判官が少年に対する処分を決めます。
裁判官等から尋ねられたことについて、事実と違う点や納得のいかない点があれば述べてください。また、調べてほしい証人や証拠があれば申し出ることもできます（裁判所で必要と認めたときは、取り調べます。）。
2. 家庭裁判所で行う主な処分は次のとおりです。
 - （1）保護観察
通常の世界生活を続けながら、保護観察所の保護観察官などの指導、監督を受けて、少年の改善、更生を図るものです。
 - （2）児童自立支援施設又は児童養護施設送致
少年をこれらの施設に入所させて、必要な指導又は養護を行うものです。
 - （3）少年院送致
少年を少年院に収容して、矯正教育を行うものです。
 - （4）検察官送致
成人の場合と同様の手続による刑事裁判を受けさせるため、事件を検察官に送致するものです。
 - （5）不処分
少年に非行がないときや、非行があっても何らの処分をするまでもないときになされるものです。
 - （6）試験観察
（1）から（5）までの最終処分を決めるため、一定の期間、少年の行動、成績を観察するものです。試験観察の期間中、民間の施設等に少年を預けて補導してもらうこと（補導委託）もあります。
3. 少年や保護者には、次の権利などが認められています。
 - （1）付添人選任権
少年及び保護者は、付添人を選任することができます。付添人は、家庭裁判所の審判の協力者であるとともに、刑事事件の弁護人に当たるものですが、弁護士に限らず、保護者や一般の人でも、裁判所の許可があれば、付添人となることができます。
 - （2）黙秘権
少年は、裁判官などの質問に無理に答える必要はありません。ただし、裁判所は、少年が述べたことを参考にして、適切な処分を決めるわけですから、言いたいことは何でも正確に述べてください。
 - （3）不服申立書
2の（1）から（3）までの決定に対して不服があれば、少年、法定代理人又は付添人は、2週間以内に高等裁判所に抗告の申立てをすることができます。
4. 以上のほか、分からないことがあれば、担当の書記官又は調査官に尋ねてください。

平成 年 月 日

家庭裁判所

支部

À l'intention du mineur et des personnes ayant sa garde :

1. Concernant l'affaire de mineur _____, il a été décidé de juger le mineur lors d'une audience du Tribunal des affaires familiales.
Une audience est une sorte de procès, et elle n'est pas ouverte au public. Le mineur et la personne ayant sa garde (et des personnes de conseil si celles-ci ont été désignées) sont présents à l'audience au tribunal (des enseignants, des délégués à la liberté surveillée bénévoles, des procureurs, etc., peuvent aussi être présents, selon les cas). L'audience examine si le mineur a commis ou non l'acte de délinquance présumé, et étudie les problèmes impliquant la personnalité et l'environnement du mineur. Le juge décide d'une mesure pour le mineur en se référant, entre autres, au rapport du délégué à la liberté surveillée du Tribunal des affaires familiales.
Si jamais des questions posées par le juge, etc., sont en contradiction avec les faits, ou avec ce que le mineur a compris, il est recommandé au mineur d'exprimer son opinion. Le mineur peut aussi demander au juge d'interroger des témoins et d'examiner des preuves (le tribunal interrogera ces témoins et examinera ces preuves s'il en reconnaît la nécessité.)
2. Les principales mesures prises par le Tribunal des affaires familiales sont les suivantes :
 - (1) Liberté surveillée
Tout en poursuivant normalement sa vie en société, le mineur reçoit l'encadrement et la supervision d'un délégué à la liberté surveillée d'un bureau de liberté surveillée, etc., dans un objectif de réhabilitation et de redressement.
 - (2) Placement dans un centre d'aide au développement de l'autonomie ou un foyer pour enfants
Le mineur est admis dans l'un de ces établissements pour y recevoir l'encadrement ou les soins nécessaires.
 - (3) Placement dans un centre éducatif pour mineurs
Le mineur est placé dans un centre éducatif pour mineurs pour y recevoir une éducation corrective.
 - (4) Transmission de l'affaire à un procureur
L'affaire concernant le mineur est transmise à un procureur pour que le mineur fasse l'objet d'une procédure judiciaire pénale, selon les mêmes procédures que dans une affaire concernant un adulte.
 - (5) Rejet de l'affaire
L'affaire est rejetée si aucun acte de délinquance du mineur n'est constaté, ou bien si l'acte de délinquance ne mérite pas la prise de mesures.
 - (6) Liberté surveillée provisoire
En vue de décider d'une mesure définitive parmi celles mentionnées de (1) à (5) ci-dessus, le comportement du mineur et ses résultats sont surveillés pendant une période fixée. Pendant la liberté surveillée provisoire, le mineur pourra être confié à un établissement privé, etc., pour y recevoir un encadrement (délégation de l'encadrement d'un mineur).
3. Les droits reconnus au mineur et à la personne ayant sa garde comprennent notamment les droits suivants.
 - (1) Droit de désigner des personnes de conseil
Le mineur et la/les personne(s) ayant sa garde peuvent désigner des personnes de conseil. Une personne de conseil coopère avec le Tribunal des affaires familiales pendant l'audience, et constitue l'équivalent d'un avocat défenseur dans une affaire criminelle. Un avocat peut devenir personne de conseil, de même qu'une personne ayant la garde du mineur ou une personne autre qu'un avocat, si le tribunal l'autorise.
 - (2) Droit de garder le silence
Le mineur n'est pas obligé de répondre contre sa volonté à des questions posées par le juge ou par d'autres personnes. Il est cependant conseillé au mineur de dire avec précision tout ce qu'il souhaite déclarer, car le tribunal décide d'une mesure adéquate sur la base de ce que le mineur a déclaré durant l'audience.
 - (3) Droit de faire appel
Si le mineur a une objection contre la décision d'une des mesures mentionnées des points (1) à (3) du paragraphe 2. ci-dessus, le mineur lui-même, son représentant légal ou sa personne de conseil disposent d'un délai de deux semaines pour faire appel devant la Cour d'appel.
4. Si vous souhaitez poser des questions sur des points que vous ne comprenez pas, adressez-vous au greffier ou au délégué à la liberté surveillée du Tribunal des affaires familiales responsable.

Date : _____

Tribunal des affaires familiales de : _____ Annexe de : _____

書式 3 審判期日通知書

平成 年 第 少年 第 号	保護事件
<p style="text-align: center;"><u>審判期日通知書</u></p> <p>少年 <u> </u> 殿</p> <p>保護者 <u> </u> 殿</p> <p>上記少年に対する保護事件の審判が開かれることになりましたから、少年と保護者の方は一緒にこの書面を持って、</p> <p style="text-align: center;">平成 年 月 日 午前 午後 時 分</p> <hr/> <p>に当裁判所に出頭してください。</p> <p>(注意) この期日に出頭できないときは、その理由を詳しく書いた書面を必ず下記裁判所書記官あて至急送ってください。</p> <p style="text-align: center;">平成 年 月 日</p> <p style="text-align: center;">家庭裁判所 裁判所書記官</p>	(備考)
	<p>家庭裁判所</p> <p>電話 () (代表)</p> <p>内線 番</p>

Formulaire 3 : Avis de date d'audience

20_____ Sho No._____ Affaire de mineur : _____

AVIS DE DATE D'AUDIENCE

À l'intention du mineur : _____

A l'intention de la personne ayant sa garde : _____

Une audience aura lieu pour l'affaire concernant le mineur indiqué ci-dessus. Le mineur et la personne ayant sa garde sont convoqués à comparaître au tribunal munis de cet avis le _____ à _____.

Note : S'il vous est impossible de vous présenter au tribunal à cette date, soumettez d'urgence au greffier dont le nom figure ci-dessous un document décrivant la raison spécifique de votre non-comparution.

Date : jour/mois/année _____

Tribunal des affaires familiales de _____

Le greffier : _____

(Remarques)

Tribunal des affaires familiales de _____

Tél.

Poste

書式 4 呼出状

平成 年 少年第 号

呼 出 状

少年 殿

保護者 殿

少年

年 月 日生

住居

上記少年に対する保護事件の審判を、きたる 月 日 午前 時行います
ので に出頭して下さい。

なお、正当な理由がないのにこの呼出しに応じないと同行状を発することがあります。

平成 年 月 日

家庭裁判所

裁判官

- 注意 1 当日は認印を持参し、この呼出状を当庁書記官室に差し出して下さい。
2 病气その他で出頭できないときは、必ず電話、手紙などで当庁書記官室に連絡して下さい。

Formulaire 4 : Avis d'assignation

20_____ Sho No. _____

AVIS D'ASSIGNATION

À l'intention du mineur : _____

À l'intention de la personne ayant sa garde : _____

Nom du mineur :

Date de naissance :

Domicile :

Une audience aura lieu à _____ le _____ pour l'affaire concernant le mineur indiqué ci-dessus. Vous êtes donc convoqué à comparaître à/au _____.

Si vous manquez de répondre à cette assignation à comparaître sans raison justifiée, un mandat de comparaître pourra être délivré pour vous conduire au tribunal.

Date : _____

Tribunal des affaires familiales de _____

Le juge : _____

Note 1. A la date indiquée, venez au Tribunal muni de votre sceau et présentez cette assignation au bureau du greffier du tribunal.

Note 2. S'il vous est impossible de comparaître en raison d'une maladie ou d'une autre raison, contactez le bureau du greffier par téléphone ou par écrit.

AVIS D'ASSIGNATION
(POUR ENQUÊTE)

À l'intention du mineur : _____

À l'intention de la personne ayant sa garde : _____

Une enquête va être effectuée sur l'affaire de mineur indiquée ci-dessus. Le mineur et la personne ayant sa garde sont convoqués à comparaître au bureau du délégué à la liberté surveillée des mineurs du Tribunal des affaires familiales, au niveau _____ du Tribunal des affaires familiales à _____ le _____, munis de cette assignation.

Date : _____

Tribunal des affaires familiales de : _____

Le délégué à la liberté surveillée du Tribunal des affaires familiales : _____

Remarques :

1. Cette affaire a fait l'objet d'une enquête par le commissariat de police de _____ le _____ 20 ____.
2. Si le mineur ou la personne ayant sa charge ne peut pas comparaître en raison d'une maladie, d'une absence ou d'une autre circonstance inévitable, le délégué à la liberté surveillée du Tribunal des affaires familiales devra en être avisé.
3. À la date indiquée, venez obligatoirement muni de _____

Tribunal des affaires familiales de _____

Tél. _____

Poste _____

書式 6 同行状 (緊急)

平成 年 (少) 第 号	執行指揮印
<h2 style="margin: 0;">同行状 (緊急)</h2>	
少年 _____ 年 _____ 月 _____ 日生	
住居 _____	
<p>上記少年の _____ 保護事件について、下記の理由により、少年を当裁判所へ同行する。</p> <p style="text-align: center;">有効期間 平成 _____ 年 _____ 月 _____ 日 まで</p> <p style="text-align: center;">この令状は上記期間経過後はその執行に着手することができない。 この場合には本令状を裁判所へ返還しなければならない。</p> <p style="text-align: center;">平成 _____ 年 _____ 月 _____ 日</p> <p style="text-align: center;">家庭裁判所 裁 判 官</p> <p style="text-align: center;">記</p> <p>(審判に付すべき事由) _____ 別紙記載のとおり (緊急同行状を発付する理由) _____ 別紙記載のとおり (適条) _____ 少年法 12 条 1 項 (参考)</p> <p>1 予想される少年の立ち回り先 _____</p> <p>2 本同行状は、 _____ 警察署宛に発付</p>	
執行した日時	平成 _____ 年 _____ 月 _____ 日 午前・午後 _____ 時 _____ 分
執行した場所	_____
執行することができなかったときはその理由	_____ _____
所 属 ・ 官 職	氏名 _____ 印 _____
同行された日時 平成 _____ 年 _____ 月 _____ 日 午前・午後 _____ 時 _____ 分	
裁判所書記官	

Formulaire 6 : Mandat d'amener (urgent)

20____ Sho No. _____	Sceau d'exécution
MANDAT D'AMENER (URGENT)	
Mineur : _____ Date de naissance : _____	
Domicile : _____	
Le mineur indiqué ci-dessus doit être conduit au Tribunal des affaires familiales pour l'affaire de mineur _____ pour les raisons décrites ci-dessous.	
Période d'effet : jusqu'au _____ 20____	
L'exécution de ce mandat ne pourra être commencée après la date indiquée ci-dessus. Si cette date est dépassée, ce mandat devra être retourné au Tribunal des affaires familiales.	
Date : _____	
Tribunal des affaires familiales de _____ Annexe de _____	
Le juge : _____	
Raisons de l'audience : telles qu'indiquées dans le document joint	
Raisons de l'exécution du Mandat d'amener (Urgent) : telles qu'indiquées dans le document joint.	
Article applicable : Paragraphe 1 de l'Article 12 de la Loi sur les mineurs	
Référence :	
1. Lieu de présence supposée du mineur en question _____	
2. Ce Mandat d'amener doit être adressé au commissariat de police de _____	
Date et heure d'exécution	_____ matin/après-midi/soir, le _____ 20____
Lieu d'exécution	_____
Raisons de non-exécution, le cas échéant	_____
Service et fonction :	Nom: _____ Sceau
Date et heure auxquelles le mineur a été amené :	
_____ matin/après-midi/soir, le _____ 20____	
Le greffier du Tribunal : _____	

書式 7 観護措置通知書

平成 年 少年第 号 保 護 事 件

観護措置通知書

殿

少年

年 月 日生

上記少年に対する保護事件について、審判を行うための必要上、少年は、平成 年 月 日 少年鑑別所に収容されたから通知する。

平成 年 月 日

家 庭 裁 判 所

裁 判 所 書 記 官

Formulaire 7 : Avis de mesure de détention

20_____ Sho No._____ Affaire de mineur : _____

AVIS DE MESURE DE DÉTENTION

À : _____

Nom du mineur : _____

Date de naissance : _____

Vous êtes avisé par la présente que le mineur indiqué ci-dessus est détenu dans un centre d'évaluation pour mineurs depuis le _____ 20__ pour une raison nécessitée par l'audience du tribunal, dans l'affaire de mineur le concernant.

Date : _____

Tribunal des affaires familiales de _____

Le greffier du tribunal : _____

平成

年(少)第

号

付 添 人 選 任 届

家庭裁判所 御中

少年

に対する

保護事件について

弁護士

を付添人に選任いたしましたから連署の上お

届けいたします。

平成 年 月 日

選任者(少年保護者)

付添人住所

付 添 人

(注) 選任者()内は該当するものに○印をつける。

Formulaire 8 : Déclaration de désignation d'une personne de conseil

20_____ Sho No. _____

DÉCLARATION DE DÉSIGNATION D'UNE
PERSONNE DE CONSEIL

Au Tribunal des affaires familiales de _____

Nous vous avisons par la présente de la désignation de M^e _____

_____ comme personne de conseil pour l'affaire _____

_____ concernant _____, sous la

signature conjointe de la personne de conseil.

Date : _____

Désignateur (entourez la mention applicable) : mineur/personne ayant sa garde

Nom : _____

Adresse de la personne de conseil : _____

Nom de la personne de conseil : _____

書式 9 付添人選任に関する通知及び照会

(法 22 条の 3 第 1 項, 規 30 条の 3 第 1 項)

平成 年(少)第 号

付添人選任に関する通知及び照会

少年 殿

保護事件名

あなたの事件では, 慎重に手続きを進めるため, 弁護士である付添人がいなければ審判できません。

あなたやあなたの家族が弁護士である付添人を選任しないときは, 裁判所が弁護士である付添人を選任します。

そこで, 同封した回答書に答えて書いて, 月 日までに 家庭裁判所に着くように送ってください。あなたが少年鑑別所にいるときは, 鑑別所の先生に渡してください。

平成 年 月 日

家庭裁判所 (担当者)

電話 内線 番

Formulaire 9 : Formulaire de demande de renseignements concernant la désignation d'une personne de conseil

(Paragraphe 1 de l'Article 22-3 de la Loi, Paragraphe 1 de l'Article 30-3 des Règles)

20_____ Sho No. _____

DEMANDE DE RENSEIGNEMENTS
CONCERNANT LA DÉSIGNATION
D'UNE PERSONNE DE CONSEIL

À : _____

Affaire : _____

Dans l'affaire mentionnée ci-dessus, la présence d'un avocat vous servant de personne de conseil est nécessaire à la conduite prudente des procédures du tribunal.

Si vous-même, ou votre famille, ne désignez pas d'avocat qui vous servira de personne de conseil, c'est le tribunal qui désignera un avocat pour agir en cette qualité.

Il vous est donc demandé de remplir et de renvoyer le Formulaire de réponse ci-joint au Tribunal des affaires familiales de _____ au plus tard le _____. Si vous êtes détenu dans un centre d'évaluation pour mineurs, remettez le Formulaire de réponse à la personne responsable du centre.

Date :

Tribunal des affaires familiales de _____

(Responsable : _____)

Téléphone : _____ (poste : _____)

書式 10 付添人選任に関する回答書

(法 22 条の 3 第 1 項, 規 30 条の 3 第 1 項)

平成 年(少)第 号

付添人選任に関する回答書

家庭裁判所 御中

保護事件について、次のとおり回答します。

※ レ印を付けてください。

- 私か私の家族が弁護士である付添人をつけます
付添人の名前は, (弁護士会) です。
(分かれば書いてください。)
- 裁判所で弁護士である付添人をつけてください。

平成 年 月 日

少年 印

Formulaire 10 : Formulaire de réponse concernant la désignation d'une personne de conseil
(Paragraphe 1 de l'Article 22-3 de la Loi, Paragraphe 1 de l'Article 30-3 des Règles)

20_____ Sho No. _____

RÉPONSE CONCERNANT LA DÉSIGNATION D'UNE PERSONNE DE CONSEIL

Au Tribunal des affaires familiales de :

Concernant l'affaire _____, j'indique ma réponse ci-dessous.

*Cochez la case appropriée :

Je désignerai, ou ma famille désignera, un avocat comme ma personne de conseil.

Le nom de l'avocat est _____
(Barreau de _____). (Précisez dans la mesure de vos connaissances)

Je souhaite que le tribunal désigne pour moi un avocat comme personne de conseil.

Date :

Nom du mineur :

Sceau

書式 11 決定通知書（審判不開始決定）

決 定 通 知 書

少 年 殿

(保護者) 殿

平成 年 月 日

家庭裁判所

裁判所書記官

少年に対する平成 年少第 号 保護事件について
は、調査の結果、本日 裁判官の決定により少年法第 19 条 1 項を適用し、こ
の事件については審判を開始しないで事件を終わらせることになりました。

この決定は、少年自身の自覚により再非行のないことを期待して行われたものですから再
び過ちを犯さないよう心がけてください。

Formulaire 11 : Avis de décision (décision de rejet sans audience)

20_____ Sho No. _____

AVIS DE DÉCISION

À l'intention du mineur : _____

À l'intention de la personne ayant sa garde : _____

Date : _____

Tribunal des affaires familiales de _____

Le greffier du tribunal : _____

En résultat de l'enquête concernant l'affaire de mineur _____, 20__
Sho No. _____, le Tribunal des affaires familiales a conclu aujourd'hui, par décision
du juge _____, de rejeter l'affaire sans tenir d'audience, en
application du Paragraphe 1 de l'Article 19 de la Loi sur les mineurs.

La décision de rejet a été rendue dans l'attente que le mineur, ayant tiré profit de
cette expérience, ne commette plus d'acte de délinquance. Il lui est donc
recommandé de ne plus commettre aucune faute.

平成 年 少年第 号

証人召喚状

証人 殿

少年

上記少年に対する 保護事件について、あなたを証人としてお尋ねしますから、来る 月 日 午前 時 分に当裁判所少年審判廷（階）に出頭してください。

平成 年 月 日

家庭裁判所
裁判官

- 注 1 出頭の際は、印鑑を持参し、この召喚状を差し出してください。出頭したときは、旅費、日当を請求することができます。
- 2 正当な理由がないのに出頭しないときは、勾引されたり、科料又は罰金、もしくは拘留に処せられたりすることがあります。

Formulaire 12 : Assignation de témoin

20_____ Sho No. _____

ASSIGNATION DE TÉMOIN

Au témoin : _____

Nom du mineur : _____

Vous êtes convoqué à vous présenter à ce Tribunal des affaires familiales (niveau _____) à _____ le _____ 20_____ pour que le tribunal puisse vous interroger en tant que témoin au sujet de l'affaire de mineur _____ concernant le mineur mentionné ci-dessus.

Date : _____

Tribunal des affaires familiales de _____

Le juge : _____

Note 1. Pour votre comparution, apportez votre sceau et présentez cette assignation. Après avoir comparu, vous pouvez demander le remboursement de vos frais de déplacement et une indemnité journalière.

Note 2. En cas de non-comparution sans raison justifiable, vous pourrez faire l'objet d'un ordre de comparution, d'une amende non pénale ou d'une amende pénale, ou être condamné à une détention.

書式 13 証人等整理票

家庭裁判所

証人等整理票		平成	年	月	日
氏名	印	事件番号	年少第	号	
年齢	年号を○で囲んでください。 昭和 年 月 日生 (年) 大正 明治	事件名			
職業		少年氏名			
住居		備考			該当するものを○で囲んでください。 証人 参考人 通訳人 鑑定人 その他 ()
旅費日当	いずれかを○で囲んでください。 請求する 請求しない				

- (注) 1 出頭された方は、この整理票に記入の上、係事務官に提出してください。
2 この整理票は、旅費日当請求書の資料あるいは旅費日当の放棄書として使用しますので、正確に記入してください。

Formulaire 13 : Fiche de témoin

FICHE DE TÉMOIN _____, 20 ____			
Nom	Sceau	Affaire numéro	20 ____ Sho No.
Âge	Date de naissance :	Nom de l'affaire	
		Nom du mineur	
Profession			
Domicile		Remarque	Entourez l'une des catégories suivantes :
Frais de déplacement et indemnité journalière	(Entourez une mention) Je demande le paiement Je ne demande pas le paiement		Témoin Témoin non assermenté Interprète Témoin expert Autres ()

Note : Présentez-vous au tribunal avec cette fiche remplie et remettez-la à l'agent responsable.

Note 2. Remplissez cette fiche avec précision, car celle-ci servira de documentation pour votre demande de paiement de frais de déplacement/d'indemnité journalière, ou votre renonciation à ceux-ci.

宣 誓 書

良^り心^{ょう}に^{しん}従^{したが}って、ほんとうの^{もう}ことを申^{もう}します。

知^しっていることをかくしたり、無^ないことを

申^{もう}したりなど、決^{けつ}して致^{いた}しません。

以^い上^{じょう}のとおり誓^{ちか}います。

しやうにん

証 人

SERMENT

Je jure sur ma conscience de dire la vérité, sans ne rien dissimuler ou ajouter.

Témoïn : _____

書式 15 通報の要請に関する照会

通報の要請に関する照会

あなたは、国民として領事関係に関
するウィーン条約第 36 項第 1 項 (b) の規定に基づき、拘禁された事実を
の領事機関に通報することを要請することが
できます。

要請するかどうかを回答書に記入してください。

なお、当該領事機関に対しては、我が国の法令に反しない限り、信書を発
することができます。

裁 判 所

回 答

通報することを 要請します。
 要請しません。

年 月 日

国 名

被拘禁者氏名

裁判所

御中

(注) 不用の文字を抹消すること。

Demande de renseignements sur la requête de notification

En vertu du Paragraphe 1 (b) de l'Article 36 de la Convention de Vienne sur les relations consulaires, en tant que national de _____, vous pouvez demander à notifier le consulat de _____ de votre détention.

Veillez remplir le formulaire suivant en indiquant si vous demandez cette notification ou non.

Vous pouvez envoyer une lettre au consulat en question dans la mesure où cette lettre ne viole pas les lois et règlements du Japon.

Réponse

Demandez-vous une telle notification ?

(Barrer la réponse ne correspondant pas à votre choix)

- (a) Oui
- (b) Non

Date : _____

Pays : _____

Nom de la personne détenue : _____

Au Tribunal des affaires familiales de _____

第4編 用語の対訳

第1 法律関係用語

〔あ行〕	〔あ行〕
アリバイ	alibi
異議審	audience d'une opposition formulée
異議申立て	formuler (déposer) une opposition (objection)
意見聴取	interrogation ; audition d'avis (d'opinion)
意見陳述	exposé d'avis (d'opinion)
移送	transfert ; renvoi
移送決定	décision de transfert ; décision de renvoi
一時停止	interruption temporaire de procédure
一事不再理の効力	force de la règle du <i>non bis in idem</i>
一般事件	affaire générale
一般遵守事項	règles communes à observer en vertu de la loi
一般短期処遇	mesure générale de courte durée
一般保護観察	liberté surveillée (surveillance probatoire) générale
一般保護事件	affaire générale de mineur
居直り強盗	vol avec menaces
違法収集証拠	preuve obtenue illégalement ; témoignage obtenu illégalement
違法性	illégalité
違法性阻却事由	facteur déniait l'illégalité ; cause justifiable ; raison justifiable
院外委嘱指導	confier l'éducation (l'encadrement, l'accompagnement) et la formation d'un mineur à un bénévole en dehors de l'institution ; éducation et formation de mineur confiées (déléguées) à un bénévole en dehors de l'institution
因果関係	causes et effets ; causalité
淫行	rapports sexuels illicites
引致	amener (conduire) un suspect (un défendeur, un prévenu, un témoin) à l'endroit désigné
引致状	mandat d'amener (de conduire) un suspect (un défendeur, un prévenu, un témoin) à l'endroit désigné
インテーク	admission; prise, absorption
インテーク基準	standard d'admission ; standard d'absorption
営利の目的	but lucratif ; intention de générer un

閲覧	profit
援助	consultation ; lecture ; inspection
押印	assistance ; aide
押収	sceau
押収物	confiscation ; saisie
	article saisi (confisqué)
[か行]	[か行]
蓋然的心証	conviction plausible
回避	récusation ; abstention ; juge se récusant
回付	transmission
開放的な処遇	régime ouvert ; mesure de type ouvert
確信の程度の心証	conviction assimilable à une certitude
確信犯	crime motivé par une croyance fanatique (idéologique, politique, religieuse, etc.)
覚せい剤	drogue stimulante ; stimulant ; stupéfiant
過失	négligence ; imprudence ; faute
過失犯	négligence criminelle
過剰避難	acte excessif par nécessité ; évitement d'un danger imminent par l'utilisation d'une force excessive
過剰防衛	légitime défense excessive (injustifiable)
学校照会	demande de renseignements à un établissement d'enseignement
学校照会書	lettre de demande de renseignements à un établissement d'enseignement
仮釈放	libération conditionnelle ; mise en liberté conditionnelle
仮収容	détention provisoire
仮退院	libération conditionnelle d'un centre éducatif pour mineurs ; libération conditionnelle
簡易送致	transmission de dossier simplifiée
簡易の呼出	assignation (sommation) simplifiée
管轄	juridiction ; compétence ; ressort
環境調整	adaptation de l'environnement
環境調整の措置	mesures concernant l'adaptation de l'environnement
環境調整命令	ordre concernant l'adaptation de l'environnement
勧告	recommandation ; avis
観護措置	mesure de détention ; détention protective d'un mineur
観護措置決定	décision de mesure de détention

観護令状	mandat de mesure de détention substituée à la détention en prison
観察	supervision ; surveillance
鑑定	expertise
鑑定人	expert
鑑定留置	détention pour examen par un expert
還付	rembourser ; restituer
鑑別結果	résultat d'évaluation (de classification) ; résultats d'examens physiques et mentaux
鑑別結果通知書	avis (opinion) de l'expert d'évaluation (de classification) ; rapport d'évaluation (de classification) préalable au procès
期間	période ; durée ; délai ; terme
棄却	rejet
危険性の予測	pronostic sur la probabilité qu'un mineur commette des actes de délinquance à l'avenir
期日	date
既遂	consommation d'un crime
偽造	contrefaçon ; falsification
既判力	autorité de la chose jugée ; <i>res judicata</i>
忌避	récusation
却下	rejet
凶悪犯	crime odieux ; criminel dangereux
教科教育	enseignement basé sur un programme
教科指導	orientation éducative
凶器	arme
教唆	incitation
矯正教育	éducation corrective
強制送還	expulsion ; déportation ; renvoi
強制退去	expulsion ; déportation ; renvoi
強制調査	enquête coercitive
強制的措置	mesures coercitives
強制的措置許可決定	décision autorisant des mesures coercitives
強制的措置不許可決定	décision n'autorisant pas de mesures coercitives
共犯	complicité
共犯者	complice ; coauteur
共謀	complicité ; collusion
協力	coopération ; collaboration
居所	adresse ; domicile ; endroit où quelqu'un se trouve

緊急同行状	mandat d'amener urgent ; mandat d'amener (de conduire) d'urgence un mineur à un tribunal
緊急避難	évitement d'un danger imminent ; refuge d'urgence
禁制品	articles prohibés ; articles de contrebande
国親	<i>parens patriae</i>
国親思想	idée du <i>parens patriae</i>
◇犯	prédélinquance ; crime d'oisiveté
◇犯事由	cause de prédélinquance ; mauvais comportement tel que défini par la loi
◇犯少年	mineur prédélinquant ; auteur d'une infraction liée au statut légal ; mineur susceptible de commettre une infraction
◇犯性	tendance à la prédélinquance
訓戒	semonce ; remontrances
刑事事件	affaire criminelle
刑事施設	institution pénale ; établissement pénitentiaire
刑事処分相当	qualifié pour une mesure pénale
刑事責任年齢	âge suffisant pour assumer la responsabilité pénale
軽微事件	affaire (dossier) mineur(e)
刑法犯	infraction au Code pénal
決定	décision ; ordre ; jugement
決定書	décision écrite
決定書の送達	signification (notification) d'une décision écrite ; envoi d'une décision écrite
決定の執行	exécution d'une décision
決定の通知	avis (notification) d'une décision
検察官関与決定	décision associant un procureur à une affaire (un dossier)
検察官送致決定	décision de transmission d'une affaire (d'un dossier) au procureur
検証	vérification
故意	intention, volonté
合議体	formation de (trois) juges
公共の福祉	bien-être public
拘禁	incarcération ; détention ; garde surveillée
後見人	tuteur (tutrice)
抗告	appel ; recours ; pourvoi
抗告受理決定	décision de recevabilité d'un appel (d'un recours, d'un pourvoi)

抗告受理の申立て	demande d'admission d'un appel (d'un recours, d'un pourvoi)
抗告審	jugement en appel
抗告の趣意	motif de l'appel
抗告の申立て	formation (introduction) d'un appel (d'un recours, d'un pourvoi)
抗告の申立書	déclaration d'appel
抗告不受理決定	décision de rejet d'un appel (d'un recours, d'un pourvoi) ; décision d'irrecevabilité d'un appel (d'un recours, d'un pourvoi)
更新	renouvellement ; reconduction
更新決定	décision de renouvellement (reconduction)
更生	réhabilitation
更正	correction ; redressement
更正決定	décision de redressement
公訴	action publique
公訴の提起	engagement (déclenchement) d'une d'action publique
交通事件	affaire de violation des règles de circulation
交通切符	amende pour infraction aux règles de circulation
交通切符制度	système d'amende pour infraction aux règles de circulation
交通短期保護観察	liberté surveillée (surveillance probatoire) à courte durée pour mineurs coupables d'infraction aux règles de circulation
交通反則通告制度	système de notification des infractions aux règles de circulation
交通保護観察	liberté surveillée (surveillance probatoire) pour mineurs coupables d'infraction aux règles de circulation
勾留	détention ; détention en prison
勾留状	mandat d'arrêt
勾留に代わる観護措置	mesure de détention substituée à la détention en prison
勾留理由開示	annonce (divulgateion) des raisons de la détention en prison
国籍	nationalité
国選付添人	personne de conseil (d'assistance) désignée par le tribunal ; personne de conseil (d'assistance) commise d'office
国選弁護人	avocat désigné par le tribunal ; avocat commis d'office
告知	avis ; annonce ; notification

告知調書	enregistrement de la déclaration détaillée du mineur
国法上の裁判所	tribunal au sens de la loi nationale
国家賠償	indemnisation par l'État
個別処遇の原則	principe du traitement individuel ; principe de l'individualité (de l'individualisation) du traitement (des mesures)
〔さ行〕	〔さ行〕
在院者	détenu(e)
再抗告	répétition d'un appel (d'un pourvoi)
再審	instance en révision ; nouvelle instruction ; nouveau procès
在宅鑑別	évaluation (classification) d'un(e) mineur(e) à domicile
裁判官の回避	abstention d'un juge
裁判権	juridiction
裁判長	Président (du tribunal)
酒酔い	ivresse
差戻し	renvoi devant une juridiction inférieure
差戻後の審判	audience d'une affaire renvoyée devant une juridiction inférieure
参考人	témoin
事案軽微	affaires mineures
死刑	peine de mort ; peine capitale
試験観察	liberté surveillée (surveillance probatoire) provisoire (par le délégué à la liberté surveillée du Tribunal des affaires familiales)
試験観察決定	décision de placement en liberté surveillée (surveillance probatoire) provisoire
事件記録	pièces du dossier ; dossier
事件の再起	récidive ; réitération (répétition) d'une affaire
事件の調査	enquête (investigation) d'une affaire
事後審	examen d'un jugement ou d'une décision après les faits
事実審理の結果	résultat de la recherche (de l'établissement des faits) par un procès
自首	fait de se livrer ; fait de se dénoncer ; auto-dénonciation
施設送致申請	demande de placement (motion en incarcération) dans un établissement (une institution)

施設送致申請事件	affaire (dossier) de demande de placement (motion en incarcération) dans un établissement (une institution)
私選付添人	personne de conseil désignée par soi-même ; personne de conseil à caractère privé
執行	exécution
執行機関	organe exécutif
執行指揮	ordre d'exécution
執行指揮書	mandat d'exécution
執行のための同行状	mandat d'amener pour exécution
執行の停止	suspension d'exécution
指導監督	orientation et surveillance (supervision) ; conseil et surveillance (supervision)
児童自立支援施設送致決定	décision de placement d'un mineur dans un centre d'aide au développement de l'autonomie
児童相談所長への送致決定	décision de transmission d'une affaire au directeur d'un centre d'orientation de l'enfance
児童養護施設送致決定	décision de placement d'un mineur dans un foyer pour enfants (une maison d'enfants)
自白	confession ; aveu ; reconnaissance
司法	justice
司法的機能	fonction judiciaire
社会記録	dossier social
社会貢献活動	activité de contribution sociale
社会資源	ressources sociales
社会適応性	adaptation sociale
社会生活	vie sociale ; vie en société
社会内処遇	mesure (traitement) en milieu ouvert ; mesure (traitement) basé(e) sur la communauté
社会調査	enquête sociale
社会防衛	défense de la société
社会防衛思想	idée de défense de la société
終局処分	mesure définitive (finale)
住居	logement ; domicile ; habitation
住所	adresse ; domicile ; lieu de résidence
自由心証主義	principe de la liberté d'évaluation des preuves (témoignages) ; principe de la liberté de conviction
重大な事実誤認	grave erreur dans la constatation (l'établissement) des faits

集団講習	cours en groupe
集団処遇	traitement de groupe
収容区分	classification (catégorie) de détention
収容継続	poursuite de détention (de placement)
収容継続決定	décision de poursuite de détention
収容継続申請	demande de poursuite de détention
収容継続申請事件	dossier (affaire) concernant une demande de poursuite de détention
受命裁判官	juge requis (désigné ; commis)
準抗告	quasi appel ; quasi recours ; quasi pourvoi
遵守事項	conditions à respecter ; règles
遵守事項違反	violation des conditions à respecter ; violation des règles
準少年保護事件	affaire (dossier) de quasi mineur
証言	témoignage ; déposition
証拠	preuve ; témoignage
証拠調べ	examen des preuves
証拠法則	règles de preuve
小舎制	Système de placement d'un petit nombre d'enfants en unité de résidence ; système d'accueil en petites maisons d'enfants
証人	témoin ; déposant
証人尋問	audition (interrogatoire) d'un témoin
証人尋問権	droit d'interroger des témoins
証人等の費用	frais des témoins, etc.
少年	mineur ; adolescent ; jeune ; enfant
少年院送致	placement d'un mineur dans un centre éducatif pour mineurs
少年院送致決定	décision de placement d'un mineur dans un centre éducatif pour mineurs
少年鑑別所収容の一時継続	poursuite provisoire de détention dans un centre d'évaluation (de classification) pour mineurs
少年審判	jugement (audience) de mineur
少年審判手続	procédure de jugement (d'audience) de mineur
少年調査記録	dossier d'enquête sociale sur un mineur
少年調査票	rapport d'enquête sociale sur un mineur
少年の刑事事件	affaire criminelle concernant un mineur
少年の健全な育成	développement sain et correct d'un mineur
少年の保護事件	affaire de mineur

少年非行	délinquance juvénile ; acte(s) de délinquance commis par un mineur
少年保護事件	affaire de mineur
少年補償	indemnisation dans une affaire de mineur
少年補償事件	affaire d'indemnisation dans une affaire de mineur
抄本	extrait
証明書	certificat
処遇勧告	recommandation de mesure
職業指導	orientation professionnelle
職業補導	formation et orientation professionnelle
職権主義	principe inquisitorial
職権主義的審問構造	structure selon laquelle le tribunal conduit d'office l'enquête et l'audience (selon le principe inquisitorial)
触法少年	mineur de moins de 14 ans suspecté d'infraction à la loi pénale
所在不明	disparu
除斥	exclusion d'un juge d'une affaire en vertu de la loi ; exclusion
処断刑	sanction (peine) légale augmentée ou diminuée d'après la loi ou les circonstances atténuantes
処分の著しい不当	inadéquation notable de la mesure (éducative)
親権	autorité parentale
親権行使	exercice de l'autorité parentale
親権尊重	respect de l'autorité parentale
人権尊重	respect des droits humains
人権保護	protection des droits humains
人権保障	garantie des droits humains
身上調査表	rapport d'enquête sur la situation personnelle ; résumé d'évaluation (de classification)
心身鑑別	examen physique et mental ; évaluation physique et mentale
身体の自由の拘束	restriction de la liberté physique ; contrainte par corps
人定質問	question d'identification individuelle
審判	audience ; jugement
審判開始決定	décision d'ouverture d'audience ; décision de commencer l'audience
審判権	droits (pouvoirs) de l'audience
審判不開始決定	décision de non-ouverture d'audience ; décision de rejet (de classement) sans

	audience
審判期日	date d'audience
審判期日通知書	avis (notification) de date d'audience
審判結果通知	avis (notification) de résultat d'audience
審判条件	conditions pour l'audience
審判状況説明	explication des conditions de l'audience ; explication de la situation de l'audience
審判調書	procès-verbal d'audience
審判廷	audience au tribunal
審判に付すべき少年	mineur(s) devant être jugé(s) ; mineur(s) devant passer en audience
審判の併合	audience (jugement) conjoint(e)
審判非公開	audience (jugement) à huis clos ; confidentialité de l'audience (du jugement)
審判傍聴	présence à l'audience ; fait d'assister à l'audience ; assistance à l'audience
性格の矯正	redressement du caractère
生活指導	encadrement éducatif (dans la vie quotidienne) ; suivi ; accompagnement ; orientation (supervision) éducative
成人	adulte
正当防衛	légitime défense
正本	copie authentique ; original
責任	responsabilité
責任能力	faculté d'être responsable ; capacité à être responsable
接見交通権	droit d'entrevue avec le suspect (le prévenu, l'inculpé) détenu ; droit de visite et de communication
接見の禁止	interdiction des entrevues avec le défendeur (le prévenu, l'accusé) ou le suspect détenu
接見の制限	restrictions aux entrevues avec le défendeur (le prévenu, l'accusé) ou le suspect détenu
宣誓	serment
専門的知識の活用	utilisation pratique des connaissances techniques (spécialisées)
全件送致主義	principe de transmission de toutes les affaires au Tribunal des affaires familiales ; système dans lequel les officiers de police judiciaire ou les procureurs envoient toutes les affaires (tous les dossiers) au Tribunal des affaires familiales

捜査	enquête ; investigation ; recherche
捜査機関	autorité enquêtrice
搜索	recherche ; fouille
送致	envoi ; placement ; transmission
訴訟法上の裁判所	tribunal au sens du Code de procédure
粗暴犯	crime violent ; infraction avec violence
損害	perte ; dommage ; préjudice
損害賠償	indemnisation (réparation) des dommages (du préjudice)
〔た行〕	〔た行〕
体育指導	encadrement physique et sportif
退院	libération ; sortie
逮捕	arrestation
知事への送致決定	décision de transmission d'un dossier (d'une affaire) au gouverneur d'une préfecture
中間少年	mineur d'âge moyen (16 et 17 ans) ; adolescent
長期の処遇	mesure de long terme
調査	enquête ; investigation ; recherches
調査官	délégué à la liberté surveillée (du Tribunal des affaires familiales)
調査命令	ordre d'enquête sociale
調査報告書	rapport de l'enquête sociale (sur un mineur)
直送事件	affaire transmise directement (au Tribunal des affaires familiales) ; affaire transmise directement au Tribunal des affaires familiales par un officier de police judiciaire
陳述録取書	procès-verbal de déposition
陳述録取調書	procès-verbal de déposition
通行禁止	interdiction de passage ; passage interdit
通行区分	catégorie de passage
通告	notification ; avis
通訳	interprétation ; traduction
通訳人	interprète
付添人	personne de conseil
付添人の選任	désignation d'une personne de conseil
連戻し	fait de ramener une personne en fuite
連戻状	mandat d'amener une personne en fuite
適正手続	procédure équitable de la loi ; respect de

伝聞証拠	la légalité ; respect du droit
伝聞法則	preuve par ouï-dire
同行	règle du ouï-dire
同行状	amener ; amener (conduire) un mineur au tribunal
動向視察	mandat d'amener
謄写	inspection de la situation d'un mineur faisant l'objet d'une mesure éducative
謄本	copie ; duplicata
道路交通事件	transcription ; copie certifiée
特別活動指導	affaire (dossier) d'infraction aux règles de la circulation
特別遵守事項	encadrement d'activités spéciales
特別法犯	conditions spéciales à observer
	crime ou délit spécial
[な行]	[な行]
任意調査	enquête volontaire
任意同行	accompagnement volontaire
年少少年	jeune mineur (14 et 15 ans) ; jeune adolescent
年長少年	mineur d'âge supérieur (18 et 19 ans) ; adolescent d'âge supérieur
年齢超過	dépassement d'âge
[は行]	[は行]
犯罪	infraction ; délit ; crime
犯罪少年	délinquant juvénile ; mineur délinquant
犯罪の嫌疑	suspicion de crime ou de délit
反対尋問	interrogatoire contradictoire
反対尋問権	droit à un interrogatoire contradictoire
被害者	victime(s) ; partie(s) lésée(s)
被害者調査	audition de la victime ; audition des victimes
非行	acte(s) de délinquance
非行事実	faits constituant l'acte de délinquance (présumé)
非行事実存在の蓋然性	probabilité d'existence des faits constituant l'acte de délinquance (présumé)
非行事実の告知	notification du fait constituant l'acte de délinquance (présumé)
非行事実の認否	reconnaissance/non-reconnaissance des faits constituant l'acte de délinquance (présumé) ; reconnaissance ou non de

非行性	l'acte de délinquance (présumé)
非行なし	tendance à répéter les actes de délinquance ; tendance à la délinquance constatation d'absence (d'inexistence) d'acte de délinquance ; il est constaté (établi) que le mineur n'a pas commis d'acte de délinquance
非常上告	appel extraordinaire ; appel extraordinaire pour mesure de redressement
否認	dénégation ; non-approbation
否認事件	affaire de dénégation ; affaire de non-approbation
秘密性	confidentialité
不告不理の原則	principe d'impossibilité d'un jugement sans poursuites
不処分	rejet (classement) ; rejet (classement) après audience ; classement sans suite
不処分決定	décision de rejet (après audience)
不定期刑	peine à durée indéterminée ; sentence à durée indéterminée
不服申立て	faire objection ; formulation d'une objection ; demande de formulation (de dépôt) d'objection (d'opposition)
不利益変更禁止	interdiction de modification au désavantage de l'accusé
分類処遇	mesure en fonction de la classification
併合審判	audience conjointe
弁解	explication ; justification
弁解の聴取	audition d'explication
変更の申出	demande de modification
弁護士	avocat
弁護人	avocat
保安処分	mesures de sécurité
報告	rapport
法廷遵守事項	points à observer prescrits par la loi
法定代理人	représentant légal
法的調査	enquête légale
法律記録	dossier juridique
保護観察	liberté surveillée ; surveillance probatoire
保護者	personne ayant la garde (d'un mineur) ; tuteur (tutrice)
保護処分	mesure éducative ; mesure de protection
保護処分取消決定	décision d'annulation de mesure éducative (de mesure de protection)

保護処分取消事件	affaire d'annulation de mesure éducative (de mesure de protection)
保護処分の競合	concurrence entre des mesures éducatives
保護処分の取消し	annulation de mesure éducative
教育的措置(保護的措置)	action éducative ; action de protection
没取	confiscation ; saisie
没取決定	décision de confiscation (de saisie)
没取に係る物の返付	restitution de biens confisqués ; restitution d'articles saisis
補充捜査	enquête complémentaire ; enquête supplémentaire
補償の払渡し	paiement d'indemnités ; paiement d'une indemnisation
補導委託	délégation de l'encadrement (l'orientation, l'accompagnement) d'un mineur ; confier l'encadrement d'un mineur
補導委託先	établissement ou personne auquel/à laquelle est délégué(e) (confié(e)) l'encadrement (l'orientation, l'accompagnement) d'un mineur
補導委託費	coût de délégation de l'encadrement (l'orientation, l'accompagnement) d'un mineur
補導援護	orientation (encadrement, accompagnement) et aide ; orientation et assistance
本籍照会	demande de renseignements sur le domicile légal
本籍照会書	demande écrite de renseignements sur le domicile légal
翻訳	traduction
翻訳人	traducteur
〔ま行〕 身柄付送致	〔ま行〕 transmettre une affaire au Tribunal des affaires familiales avec contrainte par corps du mineur ; transmission d'une affaire avec contrainte par corps
みなし勾留	affaire où la détention du mineur dans un centre d'évaluation (de classification) pour mineurs est considérée comme une détention
無職の者	personne sans emploi
無断外出	sortie sans permission
面前告知	notification en présence d'un mineur
申出	demande

申出人	demandeur
黙秘権	droit de garder le silence
黙秘権の告知	notification du droit de garder le silence
戻し収容	remise en détention ; retour en détention
戻し収容決定	décision de remise en détention
戻し収容処分	mesure de remise en détention
戻し収容申請事件	affaire (dossier) de demande de remise en détention
[や行]	[や行]
有職の者	personne employée
有責性	culpabilité
要保護性	nécessité de mesures éducatives ; nécessité de protection
余罪	autre infraction (délit) ; infraction (délit) sans accusation
余罪捜査	enquête sur une autre infraction ; enquête sur une infraction ou un délit sans accusation
呼出	sommation ; assignation
呼出状	avis de sommation ; avis d'assignation
[ら行]	[ら行]
留置施設	établissement (installation) de détention
労役場留置	détention dans un établissement de travail

第2 調査関係用語

〔あ行〕	〔あ行〕
家出	fugue ; fuite du domicile ; s'enfuir du domicile
居心地	confort
遺伝	hérédité
姻族	relations de parenté
〔か行〕	〔か行〕
カウンセリング	consultation
家族関係	relations familiales
家長	chef de famille
家庭内暴力	comportement violent dans la famille ; violence domestique
義務教育	enseignement obligatoire
虐待	mauvais traitements ; harcèlement ; traitement cruel
血族	parent consanguin ; parent par le sang
高等学校(高校)	lycée
行動傾向	tendance du comportement
公立	public
危険ドラッグ(脱法ハーブ)	drogue dangereuse (cannabis synthétique)
〔さ行〕	〔さ行〕
しつけ	discipline ; éducation
社会奉仕活動	activité sociale bénévole
照会書	demande de renseignements écrite
小学校	école primaire ; école élémentaire
上司	supérieur ; chef
職種	catégorie professionnelle ; classification des emplois
私立	privé
信条	principe ; croyance ; foi
親族	parent(s) ; parente(s)
心理テスト	test psychologique
住込み	hébergement ; internat
生活史	antécédents personnels ; antécédents ; dossier personnel ; parcours
生活費	dépenses de la vie quotidienne
成績	résultats
性的虐待	violences sexuelles
生理	physiologie ; règles
専門学校	école professionnelle
送金	envoi d'argent
相談相手	personne de conseil ; conseiller ; conseillère
〔た行〕	〔た行〕
退学	quitter (abandonner) l'école ; quitter

大学	(abandonner) abandonner ses études
怠休	université
短所	absentéisme
中学校	défaut ; point faible
長所	collège
通勤	qualité ; mérite
	aller au travail ; se rendre régulièrement au travail
手続	procédure ; formalités ; modalités
手取り	revenu (salaire) net
転居	changement d'adresse
転校	changement d'école ; changement d'établissement
転職	changement de travail
動機	motif ; mobile ; motivation
同棲	cohabitation ; habiter ensemble ; concubinage
同僚	collègue
特技	compétence particulière ; talent particulier
[な行]	[な行]
仲	relations
肉体関係	relations sexuelles
入学	entrée (admission) dans une école ; entrée (admission) dans un établissement
[は行]	[は行]
配偶者	époux ; épouse ; conjoint(e)
背景	arrière-plan
売春	prostitution
父系	lignée paternelle
不純異性交遊	relations sexuelles immorales ; promiscuité
扶養	entretien ; charge de famille
扶養家族	famille à charge
保育所	crèche ; garderie
母系	lignée maternelle
[ま行]	[ま行]
身元引受人	garant ; répondant
面接	entrevue ; visite
[や行]	[や行]
役割	rôle
幼少	enfance
幼稚園	jardin d'enfants ; école maternelle
[ら行]	[ら行]
離婚	divorce
労働条件	conditions de travail

第3 官庁等諸機関名

〔あ行〕	〔あ行〕
医務室	infirmierie ; salle de soins ; bureau médical
医務室技官	agent médical
受付	réception ; guichet d'information
〔か行〕	〔か行〕
海上保安庁	Garde-côtes du Japon
外務省	Ministère des Affaires étrangères
科学調査室	Section de recherche scientifique
家庭裁判所	Tribunal des affaires familiales
家庭裁判所支部	annexe du Tribunal des affaires familiales
家庭裁判所調査官(調査官)	délégué à la liberté surveillée ; délégué à la liberté surveillée du Tribunal des affaires familiales
家庭裁判所調査官室	bureau du délégué à la liberté surveillée du Tribunal des affaires familiales
簡易裁判所	tribunal sommaire
矯正管区	direction régionale de l'administration du redressement
矯正管区長	directeur régional de l'administration du redressement
矯正局	bureau du redressement
区	arrondissement
区検察庁	bureau du procureur local
警察	police
警察官	officier de police
警察署	commissariat de police
警察職員	fonctionnaire de police
警察署の保護室	salle de détention du commissariat de police
警察庁	Agence nationale de la police
警察庁次長	sous-directeur (directeur adjoint) de l'Agence nationale de la police
警察庁長官	directeur de l'Agence nationale de la police
警視	commissaire de police
警視監	contrôleur général
警視正	commissaire principal
警視總監	préfet de police
警視庁	préfecture de police
警視長	commissaire divisionnaire
警部	inspecteur de police
警部補	inspecteur de police adjoint
刑務官	surveillant pénitentiaire
刑務所	prison
刑務所長	directeur de prison
県	préfecture

県警察本部	siège de la police préfectorale
検察	ministère public
検察官	procureur
検察事務官	assistant du procureur
検察庁	parquet
検事	procureur
検事正	directeur du parquet de district
検事総長	procureur général
検事長	procureur général de district
公使	ministre
厚生労働省	ministère du Travail, de la Santé et des Affaires sociales
更正保護会	association d'aide à la réhabilitation
更正保護婦人会	association féminine d'aide à la réhabilitation
拘置所	maison de détention ; prison ; centre de détention
高等検察庁	parquet général
高等裁判所	Cour d'appel
高等裁判所長官	président de la Cour d'appel
[さ行]	[さ行]
最高検察庁	parquet de la Cour suprême
最高裁判所	Cour suprême
最高裁判所長官	président de la Cour suprême
最高裁判所裁判官	juge de la Cour suprême
裁判官	juge ; magistrat
裁判所事務官	auxiliaire de justice
裁判所書記官	greffier du tribunal
裁判長	président du tribunal
市	ville ; commune
次長検事	procureur général adjoint
児童委員	travailleur social pour l'enfance ; éducateur pour l'enfance
児童自立支援施設	centre d'aide au développement de l'autonomie
児童相談所	centre d'orientation pour l'enfance
児童相談所長	directeur de centre d'orientation pour l'enfance
児童福祉司	agent social pour l'enfance ; éducateur pour l'enfance
児童養護施設	maison d'enfants ; foyer pour enfants
司法警察員	officier de police judiciaire
司法警察職員	fonctionnaire de police judiciaire ; personnel de police judiciaire
司法巡査	agent de police judiciaire
巡査	agent de police
巡査長	sous-brigadier de police
巡査部長	brigadier de police
少年院	centre éducatif pour mineurs ; établissement de redressement

少年鑑別所	centre d'évaluation (de classification) pour mineurs
少年刑務所	centre de détention pour mineurs
書記官室	bureau du greffier du tribunal
人権擁護局	bureau de protection des droits
審判官	juge
審判廷	audience au tribunal
税関	douane
[た行]	[た行]
第1種少年院	centre éducatif pour mineurs de 1 ^{re} catégorie
大使	ambassadeur ; ambassadrice
大使館	ambassade
第3種少年院	centre éducatif pour mineurs de 3 ^e catégorie
第2種少年院	centre éducatif pour mineurs de 2 ^e catégorie
第4種少年院	centre éducatif pour mineurs de 4 ^e catégorie
知事(都道府県知事)	gouverneur (gouverneur d'une préfecture)
地方検察庁	parquet de district
地方検察庁支部	annexe du parquet de district
地方更正保護委員会	commission régionale de liberté surveillée ; commission régionale de réhabilitation
地方裁判所	tribunal de district
地方裁判所支部	annexe du tribunal de district
地方法務局	bureau des affaires légales de district
中央更正保護審査会	commission nationale de réhabilitation
調査官(家庭裁判所調査官)	délégué à la liberté surveillée (du Tribunal des affaires familiales)
[な行]	[な行]
入国管理局	bureau national de l'immigration
入国管理事務所	bureau de l'immigration
入国管理局出張所	poste du bureau national de l'immigration
入国者収容所	centre de détention de l'immigration
[は行]	[は行]
判事	juge
判事補	juge adjoint
福祉事務所	bureau des services sociaux
法務技官	agent technique du ministère de la Justice
法務教官	éducateur (enseignant, instructeur) du ministère de la Justice
法務省	ministère de la Justice
保護局	bureau de la réhabilitation
保護観察官	agent de liberté surveillée
保護観察所	bureau de liberté surveillée

保護観察所長
保護区
保護司
補導委託先

directeur du bureau de liberté surveillée
secteur de liberté surveillée
agent de liberté surveillée bénévole
établissement ou personne auquel/à
laquelle est délégué(e) (confié(e))
l'encadrement (l'orientation,
l'accompagnement) d'un mineur

[ら行]
領事
領事館

[ら行]
consul
consulat

第4 法令名

〔あ行〕	〔あ行〕
あへん法	Loi sur l'opium
安保条約	Traité de sécurité (traité de coopération mutuelle et de sécurité entre le Japon et les États-Unis d'Amérique)
(日本国とアメリカ合衆国との間の相互協力及び安全保障条約)	
医師法	Loi sur les praticiens médicaux
意匠法	Loi sur les dessins et modèles
医療法	Loi sur les soins médicaux
ウィーン条約	Convention de Vienne (Convention de Vienne sur les relations consulaires)
(領事関係に関するウィーン条約)	
恩赦法	Loi sur l'amnistie
〔か行〕	〔か行〕
外国為替及び外国貿易法	Loi sur le change et le commerce extérieur
外国裁判所ノ囑託ニ因ル共助法	Loi sur l'aide judiciaire sur demande des tribunaux étrangers
海上交通安全法	Loi sur la sécurité du trafic maritime
海上衝突予防法	Loi sur la prévention des collisions en mer
覚せい剤取締法	Loi sur le contrôle des drogues stimulantes
家事事件手続規則	Règles sur les procédures des affaires concernant la famille
家事事件手続法	Loi sur les procédures des affaires concernant la famille
学校教育法	Loi sur l'enseignement scolaire
割賦販売法	Loi sur la vente à tempérament
火薬類取締法	Loi sur le contrôle des explosifs
関税定率法	Loi sur les tarifs douaniers
関税法	Loi sur la douane
警察官職務執行法	Loi sur l'exécution des missions de police
警察法	Loi sur la police
刑事訴訟規則	Règles de procédure criminelle (pénale)
刑事訴訟費用等に関する法律	Loi concernant le coût des procédures criminelles (pénales)
刑事訴訟法	Code de procédure pénale (criminelle)
刑事補償規則	Règles de l'indemnisation en matière pénale (criminelle)
刑事補償法	Loi sur l'indemnisation en matière pénale (criminelle)
競馬法	Loi sur les courses hippiques
軽犯罪法	Loi sur les infractions et délits mineurs
刑法	Code pénal
検察審査会法	Loi sur les enquêtes en cas de poursuites
検察庁法	Loi sur le parquet (le ministère public)
憲法(日本国憲法)	Constitution (du Japon)
公害罪法(人の健康に係る公害犯罪の処罰)	Loi de répression de la pollution (Loi de

に関する法律)	répression des nuisances de la pollution nocives pour la santé humaine)
航空機の強取等の処罰に関する法律	Loi de répression des actes de piraterie aérienne
航空の危険を生じさせる行為等の処罰に関する法律	Loi sur la répression des actes dangereux pour la navigation aérienne
更生保護法	Loi de réhabilitation des délinquants ; Loi de réhabilitation des auteurs d'infraction
国際捜査共助法	Loi sur l'aide internationale en matière d'investigation (d'enquête)
国籍法	Loi sur la nationalité
戸籍法	Loi sur le registre de famille
国家賠償法	Loi sur l'indemnisation par l'État
[さ行]	[さ行]
裁判所法	Loi d'organisation des tribunaux
酒に酔って公衆に迷惑をかける行為の防止等に関する法律	Loi sur la prévention des actes de nuisance publique par les personnes en état d'ivresse
自転車競技法	Loi sur les courses cyclistes
児童買春、児童ポルノに係る行為等の規制及び処罰並びに児童の保護等に関する法律	Loi sur le contrôle et la répression des actes liés à la prostitution enfantine et la pornographie enfantine et sur la protection de l'enfance
自動車の運転により人を死傷させる行為等の処罰に関する法律	Loi sur la répression des actes ayant entraîné des blessures physiques ou un décès par la conduite d'un véhicule
児童福祉法	Loi sur le bien-être de l'enfance
銃砲刀剣類所持等取締法	Loi de contrôle de la détention d'armes à feu et d'armes blanches
出入国管理及び難民認定法	Loi sur le contrôle de l'immigration et la reconnaissance des réfugiés
少年院法	Loi sur les centres d'éducation pour mineurs
少年鑑別所法	Loi sur les centres d'évaluation pour mineurs
少年審判規則	Loi sur les procédures judiciaires concernant les mineurs
少年の保護事件に係る補償に関する規則(少年補償規則)	Règles sur l'indemnisation en matière de mineurs (Règles relatives à l'indemnisation dans les affaires de mineurs)
少年の保護事件に係る補償に関する法律(少年補償法)	Loi sur l'indemnisation en matière de mineurs (Loi relative à l'indemnisation dans les affaires de mineurs)
少年法	Loi sur les mineurs
商法	Code de commerce
職業安定法	Loi sur la sécurité de l'emploi
人身保護法	Loi sur l' <i>habeas corpus</i>
新東京国際空港の安全確保に関する緊急措置法	Loi sur les mesures d'urgence pour la sécurité du nouvel aéroport de Tokyo

森林法	Loi sur les forêts
精神保健及び精神障害者福祉に関する法律	Loi sur la santé mentale et sur le bien-être des handicapés mentaux
船員法	Loi sur les marins
船舶安全法	Loi sur la sécurité des navires
船舶職員法	Loi sur les officiers de marine
船舶法	Loi sur les navires
組織犯罪処罰法（組織的な犯罪の処罰及び 犯罪収益の規制等に関する法律）	Loi de répression du crime organisé (Loi sur la répression du crime organisé et le contrôle des profits d'activités criminelles)
〔た行〕	〔た行〕
大麻取締法	Loi sur le contrôle du cannabis
著作権法	Loi sur le droit d'auteur
通貨及証券模造取締法	Loi sur le contrôle de la contrefaçon des monnaies et des titres
鉄道営業法	Loi sur l'exploitation des chemins de fer
電気通信事業法	Loi sur les activités de télécommunications
電波法	Loi sur la radio
盗犯等ノ防止及処分ニ関スル法律	Loi sur la prévention et la répression du vol
逃亡犯罪人引渡法	Loi sur l'extradition
道路運送車両法	Loi sur les véhicules de transport routier
道路交通法	Loi sur la circulation routière
毒物及び劇物取締法	Loi sur le contrôle des substances toxiques et délétères
〔な行〕	〔な行〕
日本国憲法	Constitution du Japon
日本国とアメリカ合衆国との間の相互協力及 び安全保障条約（安保条約）	Traité de coopération mutuelle et de sécurité entre le Japon et les États-Unis d'Amérique (Traité de sécurité)
日本国とアメリカ合衆国との間の相互協力及 び安全保障条約第 6 条に基づく施設及び区 域並びに日本国における合衆国軍隊の地位 に関する協定の実施に伴う刑事特別法	Loi criminelle spéciale concernant la mise en application de l'accord au titre de l'Article VI du Traité de coopération mutuelle et de sécurité entre le Japon et les États-Unis d'Amérique, concernant les installations et les zones et le statut des forces armées des États-Unis d'Amérique au Japon
日本国における国際連合の軍隊の地位に関 する協定の実施に伴う刑事特別法	Loi criminelle spéciale concernant la mise en application de l'Accord sur le statut des forces armées des États-Unis d'Amérique au Japon
〔は行〕	〔は行〕
売春防止法	Loi anti-prostitution
破壊活動防止法	Loi de prévention des activités subversives

爆発物取締罰則 罰金等臨時措置法	Loi sur le contrôle des explosifs Loi sur les mesures provisoires concernant les amendes, etc.
犯罪捜査規範 犯罪捜査のための通信傍受に関する法律	Règles des enquêtes criminelles Loi sur les écoutes téléphoniques aux fins d'enquête criminelle
犯罪者被害者等給付金支給法	Loi concernant le paiement de prestations aux victimes de criminels
犯罪被害者等の保護を図るための刑事手続に付随する措置に関する法律	Loi sur les mesures annexes aux procédures pénales pour la protection des victimes
風俗営業等の規制及び業務の適正化等に関する法律	Loi sur le contrôle et l'amélioration des activités de divertissement
武器等製造法	Loi sur la fabrication d'armement
法廷等の秩序維持に関する法律	Loi sur le maintien de l'ordre dans les tribunaux
暴力行為等処罰ニ関スル法律	Loi sur la répression de la violence physique, etc.
保護司法	Loi sur les agents de liberté surveillée bénévoles
 〔ま行〕	 〔ま行〕
麻薬及び向精神薬取締法	Loi sur le contrôle des narcotiques et des psychotropes
麻薬及び向精神薬取締法等特例法（国際的な協力の下に規制薬物に係る不正行為を助長する行為等の防止を図るための麻薬及び向精神薬取締法等の特例等に関する法律）	Loi d'exemption spéciale de la loi sur les narcotiques et les psychotropes (Loi d'exemption spéciale de la loi sur les narcotiques et les psychotropes en vue de prévenir par la coopération internationale la facilitation des actes illégaux relatifs aux narcotiques)
未成年者飲酒禁止法	Loi de prohibition de la consommation d'alcool chez les mineurs
未成年者喫煙禁止法	Loi de prohibition du tabagisme chez les mineurs
民事訴訟法	Code de procédure civile
民法	Code civil
 〔や行〕	 〔や行〕
有線電気通信法	Loi sur les télécommunications filaires
郵便法	Loi sur la poste
 〔ら行〕	 〔ら行〕
領海及び接続水域に関する法律	Loi sur la mer territoriale et la zone contiguë
領事関係に関するウィーン条約（ウィーン条約）	Convention de Vienne sur les relations consulaires (Convention de Vienne)
旅券法	Loi sur les passeports
労働基準法	Loi sur les normes du travail

第5 罪名

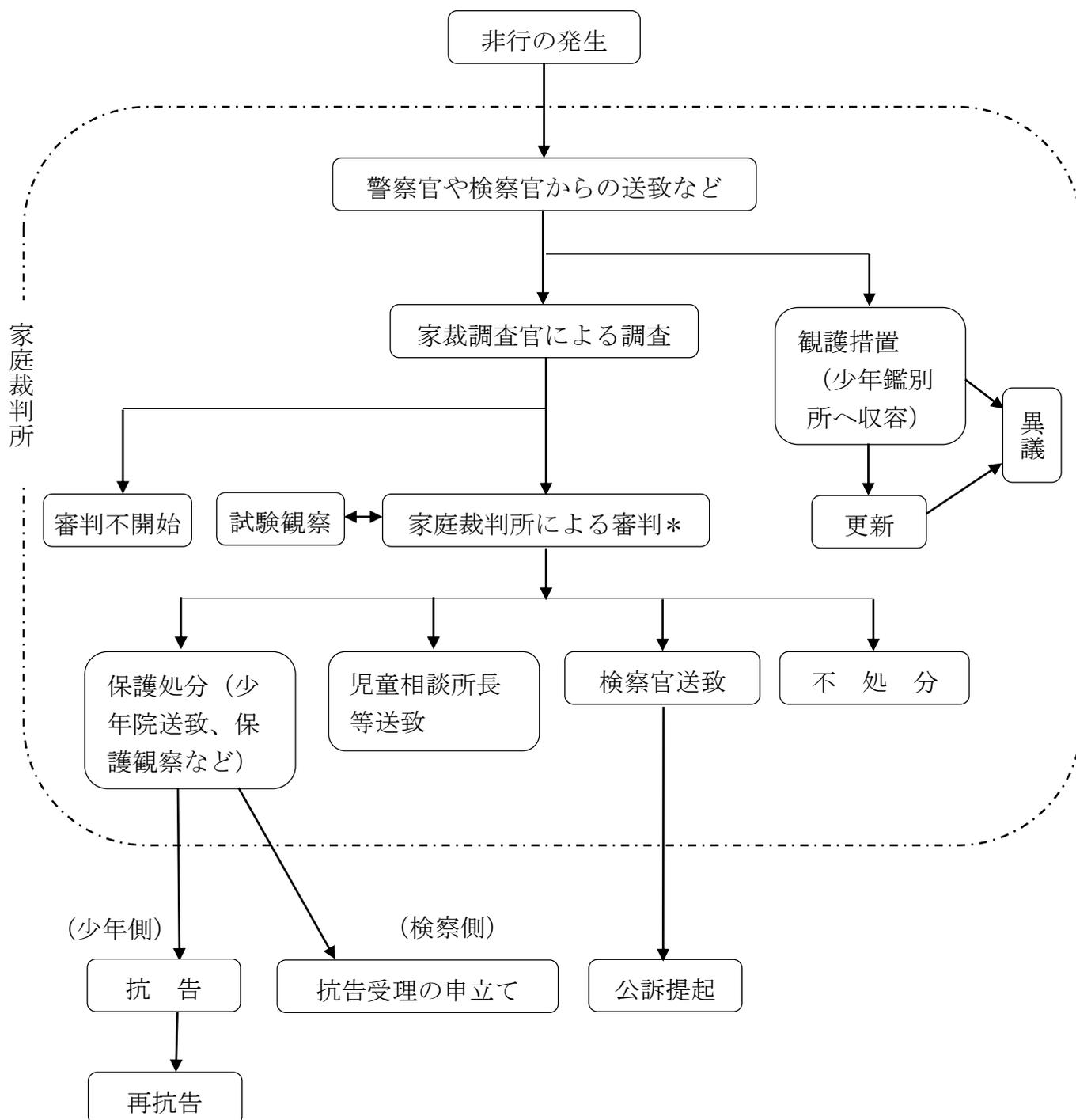
〔あ行〕	〔あ行〕
遺棄罪	abandon ; délaissement
遺棄致死傷罪	abandon ayant entraîné la mort ou une blessure physique
遺失物等横領罪	appropriation (détournement) d'objet perdu
威力業務妨害罪	entrave à l'activité économique par usage de la force
往来危険罪	mise en danger du trafic
横領罪	appropriation ; détournement
〔か行〕	〔か行〕
覚せい剤取締法違反	violation de la loi sur le contrôle des drogues stimulantes
過失傷害罪	négligence ayant entraîné des blessures physiques (lésions corporelles) ; blessures physiques causées par négligence
過失致死罪	négligence ayant entraîné la mort ; décès causé par négligence
過失運転致死傷罪	décès ou blessures physiques causés par négligence dans la conduite d'un véhicule ; négligence dans la conduite d'un véhicule ayant entraîné la mort ou des blessures physiques
危険運転致死傷罪	décès ou blessures physiques causés par la conduite dangereuse d'un véhicule ; conduite dangereuse d'un véhicule ayant entraîné la mort ou des blessures physiques
偽証罪	faux témoignage
偽造外国通貨行使罪	utilisation de monnaie (devise) étrangère contrefaite
偽造通貨行使罪	utilisation de monnaie contrefaite (de fausse monnaie)
偽造無印公文書行使罪	utilisation de documents publics falsifiés (contrefaits) sans signature ou sceau
偽造無印私文書行使罪	utilisation de documents privés falsifiés (contrefaits) sans signature ou sceau
偽造有印公文書行使罪	utilisation de documents publics falsifiés (contrefaits) avec signature ou sceau
偽造有印私文書行使罪	utilisation de documents privés falsifiés (contrefaits) avec signature ou sceau
偽造有価証券行使罪	usage de titres (de valeurs mobilières) falsifié(s) (contrefait(e)s)
器物損壊罪	destruction du bien d'autrui
恐喝罪	chantage
強制わいせつ罪	outrage à la pudeur avec usage de la force

強制わいせつ致死傷罪	outrage à la pudeur avec usage de la force ayant entraîné la mort ou des blessures physiques ; décès ou blessures physiques causé(es) par un outrage à la pudeur avec usage de la force
脅迫罪	menace
業務上横領罪	détournement (déprédation) dans le cadre professionnel ; prévarication ; concussion
業務上過失往来危険罪	mise en danger du trafic causée par une imprudence (négligence) professionnelle
業務上過失傷害罪	blessures physiques causées par imprudence (négligence) professionnelle
業務上過失致死罪	homicide par imprudence (négligence) professionnelle
強要罪	usage de la contrainte ; usage de la force
現住建造物等放火罪	incendie criminel d'une construction habitée
建造物等以外放火罪	incendie d'objets autres que des constructions
建造物等延焼罪	propagation d'incendie à une construction
公印偽造罪	contrefaçon de sceau officiel
公印不正使用罪	utilisation non autorisée d'un sceau officiel
強姦罪	viol
強姦致死傷罪	viol ayant entraîné la mort ou des blessures physiques
公正証書原本不実記載罪	fausse déclaration dans l'original d'un acte authentique officiel
公然わいせつ罪	outrage à la pudeur dans un lieu public
強盗強姦罪	vol avec viol
強盗強姦致死傷罪	vol avec viol ayant entraîné la mort ou des blessures physiques
強盗罪	vol
強盗致死罪	vol ayant entraîné la mort
強盗致傷罪	vol ayant entraîné des blessures physiques
強盗予備罪	préparation de vol
公用文書毀棄罪	destruction de documents publics
公務執行妨害罪	obstruction à l'exécution d'une mission publique
昏睡強盗罪	vol par provocation d'un état de léthargie
[さ行]	[さ行]
詐欺罪	fraude ; escroquerie
殺人罪	meurtre ; homicide
殺人予備罪	préparation de meurtre
私印偽造罪	contrefaçon de sceau privé
私印不正使用罪	utilisation non autorisée de sceau privé
死体遺棄罪	abandon de corps
重過失傷害罪	négligence (faute) grave ayant entraîné des blessures physiques ; blessures par

重過失致死罪	imprudence négligence grave ayant entraîné la mort ; homicide par imprudence
住居侵入罪	effraction ; violation de domicile
銃砲刀剣類所持等取締法違反	violation de la Loi de contrôle de la détention d'armes à feu et d'armes blanches
傷害罪	blessures physiques ; coups et blessures ; lésions corporelles
傷害致死罪	blessures physiques ayant entraîné la mort
常習賭博罪	jeux (d'argent, de hasard) à caractère habituel
常習累犯窃盜罪	vol à caractère habituel avec condamnations antérieures (récidive)
証人威迫罪	intimidation de témoin
証拠隠滅罪	destruction de preuve
窃盜罪	vol
贈賄罪	corruption
〔た行〕	〔た行〕
逮捕監禁罪	arrestation et emprisonnement illégaux ; arrestation et détention illégales
逮捕監禁致死傷罪	arrestation et emprisonnement illégaux ayant entraîné la mort ou des blessures physiques ; arrestation et détention illégaux ayant entraîné la mort ou des blessures physiques
単純逃走罪	évasion simple
通貨偽造罪	contrefaçon de monnaie
盜品等無償讓受け罪	acceptation à titre gratuit d'articles volés
盜品等有償讓受け罪	acceptation à titre onéreux d'articles volés
道路交通法違反	violation de la loi sur la circulation routière
毒物及び劇物取締法違反	violation de la loi sur le contrôle des substances toxiques et délétères
賭博場開帳罪	ouverture d'un lieu de jeux d'argent (de hasard)
賭博罪	jeu(x) d'argent ; jeu(x) de hasard
〔は行〕	〔は行〕
背任罪	abus de confiance ; abus de confiance criminel ; prévarication ; concussion
犯人蔵匿罪	recel de malfaiteur ; recel de délinquant
非現住建造物等放火罪	incendie criminel d'une construction inhabitée
売春防止法違反	violation de la loi anti-prostitution
放火罪	incendie criminel
暴行罪	violences ; voies de fait ; agression
暴力行為等処罰ニ関スル法律違反	violation de la loi sur la répression de la violence physique, etc.

保護責任者遺棄罪	abandon (délaissement) par une personne ayant la garde ; abandon aggravé
保護責任者遺棄致死傷罪	abandon (délaissement) par une personne ayant la garde ayant entraîné la mort ou des blessures physiques ; décès ou blessures physiques causés par l'abandon (délaissement) par une personne ayant la garde
〔ま行〕 麻薬及び向精神薬取締法違反	〔ま行〕 violation de la loi sur le contrôle des narcotiques et des psychotropes
身の代金目的拐取罪	enlèvement (rapt, kidnapping) ou détournement pour rançon
身の代金目的拐取幫助罪	complicité d'enlèvement (de rapt, de kidnapping) pour rançon
身の代金目的拐取予備罪	préparation d'enlèvement (de rapt, de kidnapping) pour rançon
身の代金目的被拐取者收受罪	séquestration d'une personne ayant été enlevée (kidnappée) pour rançon
無印公文書偽造罪	falsification (contrefaçon) de document public sans signature ou sceau
無印私文書偽造罪	falsification (contrefaçon) de document privé sans signature ou sceau
名誉毀損罪	diffamation
〔や行〕 有印公文書偽造罪	〔や行〕 falsification (contrefaçon) de document public avec signature ou sceau
有印私文書偽造罪	falsification (contrefaçon) de document privé avec signature ou sceau
有価証券偽造罪	falsification (contrefaçon) de titres (de valeurs mobilières)

少年保護事件の手続の流れ



* 複雑困難な重大事件などでは、①3人の裁判官が審判したり、②検察官が立ち会うことがあります。